pcLANfax 操作ガイド

pcLANfax Ver.2003

株式会社ダイナックス

はじめに

この度は、『pcLANfax』 をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

『pcLANfax』(ピーシー・ラン・ファックス)は、ネットワーク(LAN)環境下で共有可能なパソコン用 FAX ソフトウェアです。従来の FAX 専用機に代わり、パソコンの周辺機器を利用することで FAX の送受信からファイリングまでの自動化を実現します。
『pcLANfax』の特徴は、FAX 専用機をしのぐ使いやすさと機能性です。
パソコンならではの融通性と、送受信 FAX を容易に保管・管理できる優れたファイル管理などの多彩な機能が、ビジネスの効率化をお約束します。

―――

1. 本ソフトウェア及び本操作ガイドは、（株）ダイナックスが著作権及び版権を有しています。本書の内容の全部または一部を無断で転載、複写、転載、改変すること及び、バックアップ以外の目的によるコピーは禁止されています。
2. 本ソフトウェアの仕様及び本操作ガイドの内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本ソフトウェア及び本マニュアルの内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や、記載もれ等お気付きの点がございましたらご連絡下さい。
4. 本ソフトウェアを運用した結果の影響については、いかなる種類のものであれ、その責任を負いかねますので予めご了承下さい。

Windows は米国 Microsoft Corporation の商標です。
その他記載されている会社名、商品名は各社の登録商標または商標です。

目　次

はじめに 2
１ pcLANfax の特徴 4
２ 『pcLANfax』の使い方 5
２.１ pcLANfax の基本画面 5
２.２ 基本操作について 6
２.２.１ ツールバー 6
２.２.２ ドラッグ＆ドロップ 6
２.２.３ 住所録から選択して送信 7
２.２.４ 送信と登録 8
２.２.５ 送信と転送 8
２.２.６ 同報送信 8
２.３ FAX の送受信環境 9
２.４ pcLANfax マネージャ 10
２.４.１ 受信 FAX の表示と配信 12
２.４.２ FAX の受信･配信による通知とその設定 14
２.４.３ 受信情報の機能 15
２.５ FAX の送信 16
２.５.１ アプリケーション･プログラムから FAX 送信 16
２.５.２ スキャナからイメージを取込んで FAX 送信 19
２.５.３ 送受信 FAX データを再利用して FAX 送信 20
２.５.４ 送付票のみ FAX 送信 21
２.６ FAX データを見る(pcLANfax 画像ビューア) 22
２.７ FAX データを編集する 24
２.８ FAX データを印刷する 26
２.９　住所録の登録 27
２.１０ pcLANfax ﾓﾃﾞﾑ制御 28
２.１１ pcLANfax 環境設定 29
２.１２ 送付票エディタ 32
２.１２.１ オリジナル送付票の作り方 32
２.１３ メニューバーの説明 38
２.１３.１ マネージャ（基本操作画面） 38
２.１３.２ pcLANfax モデム制御 41
２.１３.３ 画像ビューア 42
２.１３.４ 送付票エディタ 43
２.１４ その他の機能 44
２.１５ 注意事項 44
３　追加機能 45
３.１ pcLAnfax のバックアップ 45
３.２ データフォルダの変更 45
３.３ データベースの最適化 46

1 pcLANfax の特徴

● ネットワークで効率良く活用
FAX の送信・受信、さらには送受信データの管理までを LAN に接続されたパソコン上で共有可能。専用のサーバを LAN 上に設置しなくても、ネットワークが利用できます。また、複数のモデムを接続した多回線対応の場合でも、それぞれのモデムが効率良く送受信を実行します。

● ファイリング機能で一元管理
FAX の送受信内容はもちろん、スキャナから取り込んだイメージデータ、ワープロソフトで作成した文書など、すべて時系列でファイリングされるため一元管理が可能です。たとえばインターネット上でキャッチした情報も、画面上からスクラップ感覚で簡単にファイリングできます。ファイリングされたデータは、検索・内容表示・編集が容易に行なえるだけでなく、これまでの FAX 専用機で送受信していた紙のように紛失することはありません。また、社内での回覧や掲示なども紙を使わずにネットワーク上で可能になります。

● ダイレクト返信
FAX で受信した申込書やアンケートなどに文字を書き込んだり、イメージを貼付けてそのまま返信することが可能です。また、カタログの配布などのように同じ資料を宛先だけを変えて何度でも送ることができます。

● わかりやすい操作
インストールから操作まで、画面上からすべての機能がわかりやすく操作しやすい、ネットワーク対応ソフトウェアです。

● 受信内容を自動印刷
受信した FAX は、パソコン用のプリンターから自動で普通紙出力が可能です。

● クリアで鮮明な送信内容
送信は相手先の FAX に直接出力するため、文字の汚れやかすれがない確実な送信が可能です。

● 親切なお知らせ機能
新着 FAX 受信時には、他のアプリケーション使用時でも音とポップアップ画面で知らせる機能を備えています。

● 送付票のみ送信
簡単な連絡事項は、送付票のメモ欄に記入するだけで、スピーディに送信可能です。

● イメージクリッピング機能
イメージデータの必要な部分だけを、自由に加工編集できるため、新聞記事のスクラップなどが簡単につくれます。

● プレビュー機能
FAX 送信時に、送付内容、宛先などを画面上で確認するプレビュー機能を備えています。

● インターネットで情報共有（※オプション）
たとえば、オプション機能 をつけた pcLANfax を WWW サーバに置き、本店で送受信している FAX を全国の営業所からインターネットで閲覧するなど、LAN 以外でも活用できます。

2 『pcLANfax』の使い方

『pcLANfax』の機能は大きく６つに分けることができます。スタートメニューから選択し実行するか、もしくはインストール先のアイコンをダブルクリックして下さい。

① pcLANfax ﾏﾈｰｼﾞｬ

② pcLANfax ﾓﾃﾞﾑ制御（ソニー株式会社製メモリ付 FAX モデム＝白、一般の FAX モデム＝黄）

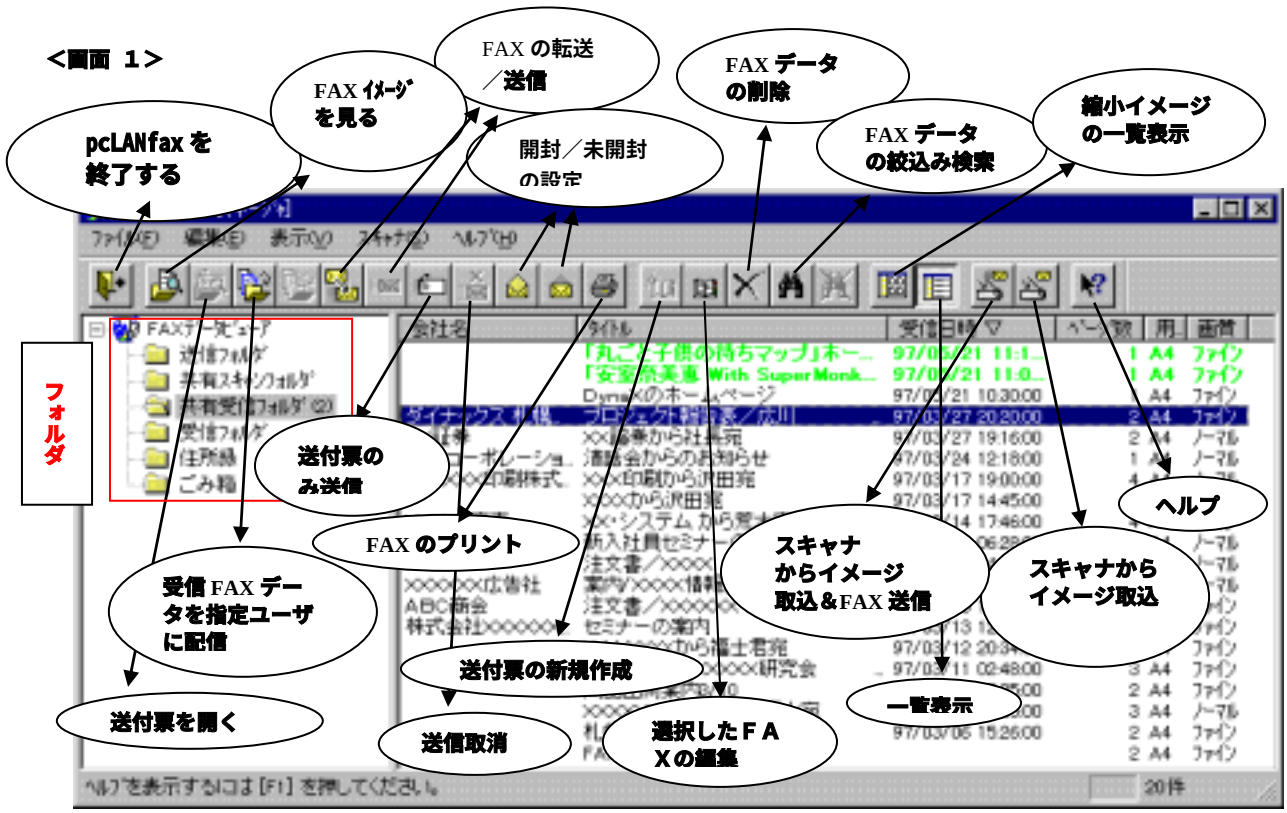
③ pcLANfax 画像ﾋﾞｭｰｱ

④ pcLANfax 環境設定

⑤ pcLANfax 受信ﾓﾆﾀ

⑥ pcLANfax 送付票ｴﾃﾞｨﾀ

2.1 pcLANfax の基本画面



２.２ 基本操作について

２.２.１ ツールバー

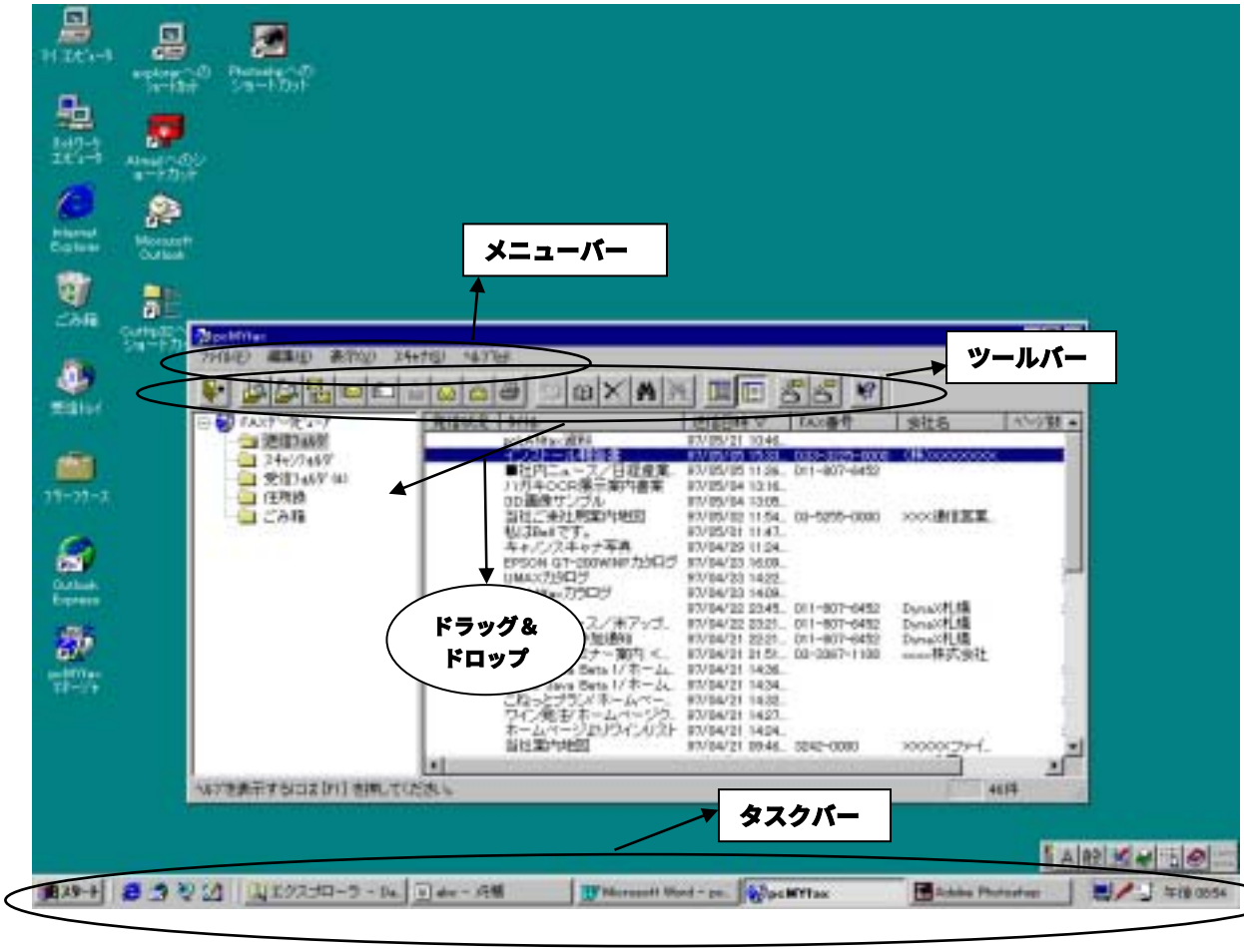
ツールバーのボタンは、メニューバーのコマンドをワンタッチで呼び出すために用意されている機能です。白黒で表示されているボタンは、現在の状態では無効な機能を意味します。また、押されているボタンは現在の状態を意味します。ボタンの機能がわからなくなった場合には、マウスカーソルをボタンの上に移動し静止させて下さい。直下にコマンドの機能が表示されます。（画面 ２）

２.２.２ ドラッグ＆ドロップ

フォルダ内のデータをドラッグし、違うフォルダにドロップする事によって、移動や削除といった機能を「メニュー」やツールボタンを使用せずに利用できます。ドラッグしたデータのフォルダと、ドロップしたフォルダの関係によって下図のような機能になります。

		ドロップ側					
		送信ﾌｫﾙﾀﾞ	共有ｽｷｬﾝﾌｫﾙﾀﾞ	共有受信ﾌｫﾙﾀﾞ	受信ﾌｫﾙﾀﾞ	住所録	ゴミ箱
ドラッグ側	送信ﾌｫﾙﾀﾞ	×	×	×	×	×	○(移動)
	共有ｽｷｬﾝﾌｫﾙﾀﾞ	○(転送)	×	×	×	×	○(移動)
	共有受信ﾌｫﾙﾀﾞ	○(転送)	×	×	○(ｺﾋﾟｰ)	×	○(移動)
	受信ﾌｫﾙﾀﾞ	○(転送)	×	×	×	×	○(移動)
	住所録	×	×	×	×	×	×
	ゴミ箱	○(転送)	○(移動)	○(移動)	○(移動)	×	×

＜画面　２＞



２.２.３ 住所録から選択して送信

＜画面 ３＞

送信時に指定する送り先の情報は、予め住所録に登録（２.９参照）しておくことで、一覧から送信先を選択できるようになります。

一覧より選んで「住所録から追加」をクリックしてください。

住所録から検索

＜画面 ４＞

会社名や部署、電話番号等でキーワードを入力します。

「絞込み検索」をクリックすると、
左図のように、ここに入力した文字が含まれるものを住所録から抽出して表示します。

☆ グループを抽出する方法例（「××会員」を全指定する場合）

１．予め「××会員」の各住所録のメモ欄に「××会員」と入力してください。

２．住所禄表示欄にメモ欄を追加してください。
（２.１３.１ マネージャ（画面４３）を参照してください）

３．住所録画面に「××会員」のキーワードを入力します。

４．「絞込み検索」をクリックすると住所録に「××会員」という文字が含まれるものを住所録から抽出して表示します。

５．すべてを指定しますと、グループ全体を指定することができます。

２.２.４ 送信と登録

pcLANfax は、FAX の送受信データを管理するだけでなく、ファイリングとしての機能も大きな特徴です。「登録」は、送信する FAX を事前に確認するといった使い方と、はじめからファイリングだけの目的で利用することを想定した機能です。

例えば、インターネットを閲覧している時に、スクラップしておきたいページがあった場合、FAX を送る感覚で「送信」の代わりに「登録」とするだけで簡単にファイリングできます。

注）「登録」で発信予定（時間指定送信）を設定しても送信されません。

２.２.５ 送信と転送

pcLANfax の機能の中で「送信」と「転送」という機能（ボタン）がよく出てきます。どちらも FAX の送信または登録のための指示ですが、元となる原稿の処理方法が異なります。「送信」は、元の原稿を残さずに新たに設定した内容に置き換えます。これに対し「転送」は、元の原稿はそのままに、設定した内容が新たに管理データに追加されます。従って、「送信」は、過去の記録が無くなって新しく塗り変わる代わりにデータ量は増えません。逆に、「転送」は、新しく追加されるため記録も残る代わりにデータ量も増えます。

２.２.６ 同報送信

同じ原稿を複数の宛先に送ることを一般的に同報送信といいます。しかし、一斉に送るわけではなく、一度に指定した宛先に順次送信するということです。（ただし、回線の数だけの同時送信は可能です）また、データの管理方法ですが、「２.２.４の送信と転送」の管理方法とも異なり、送信記録としては宛先毎にすべて残りますが、原稿はあくまでも１つです。

こうした、条件を利用することで無駄なデータを溜めずに記録だけを残すことができます。
複数の宛先に送る時、住所禄のメモ欄にグループのキーワードを予め設定しておきますと簡単に送信できます。
（「２．２．３住所録から選択して送信」のグループを抽出する方法を参照してください。）

２.３ FAX の送受信環境

FAX を送受信するには、次の二つの条件を満たす必要があります。
1)共有するデータのあるパソコンが起動していて、データが共有状態になっていること。
2)モデムが接続されたパソコンで「pcLANfax ﾓﾃﾞﾑ制御」が起動していること。
データが共有されている場所と、モデムが接続されたパソコンが同じであれば、そのパソコンだけで２つの条件を満たすことができます。

また、多回線で送受信する場合は、モデムが接続されたすべてのパソコンで「pcLANfax ﾓﾃﾞﾑ制御」を起動して頂ければ、空き回線を効率よく選んで送受信いたします。

詳細につきましては pcLANfax 導入ガイドの「１．pcLANfax のさまざまな接続方法」を参照して下さい。

２．４ pcLANfax マネージャ

『pcLANfax』の基本となる処理です。FAX の送受信指示や、イメージのデータ取込から送受信 FAX データの管理までを行います。「pcLANfax ﾏﾈｰｼﾞｬ」だけを起動しても実際の FAX 送受信は行われません。FAX の送受信のためには、「pcLANfax ﾓﾃﾞﾑ制御」の起動と、サーバとしてインストールしたパソコンが共有となっている必要があります。

表示には、１行毎の一覧表示と、FAX の各１ページ目のイメージを縮小したアイコン一覧表示があります。その選択は、メニューの中から選択するか、ツールバーのアイコンをクリックして切り替えることができます。

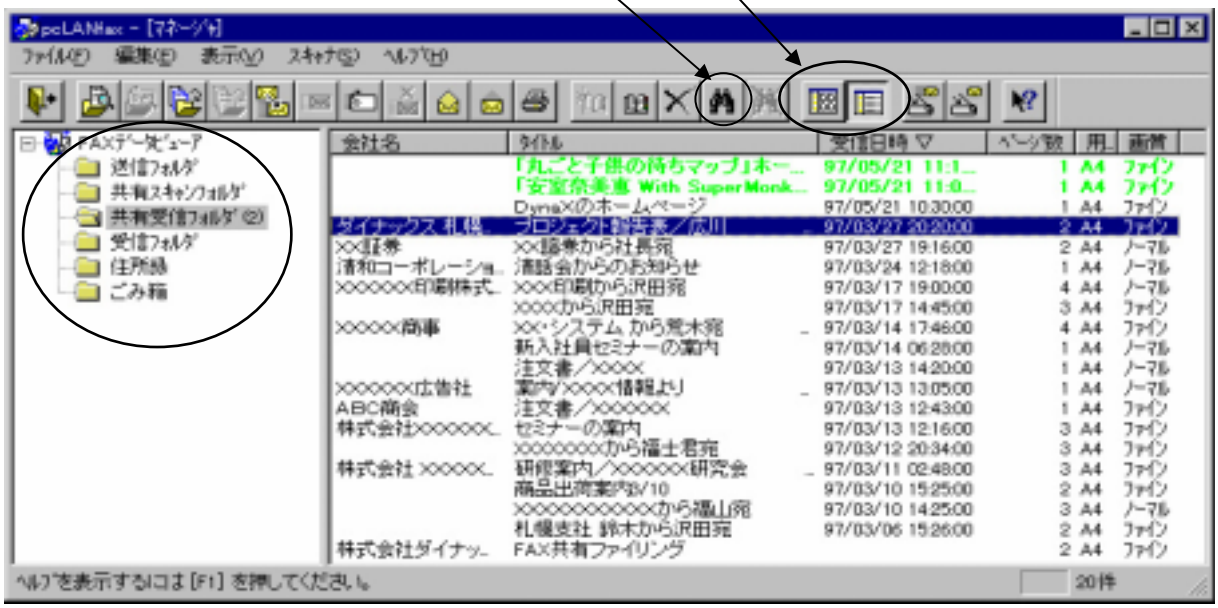
＜表示の並び変更＞

一覧の並びを変更するには、各項目のタイトルバーをクリックします。また、クリックを繰り返すことで、昇順・降順に切り替わります。

＜絞込み検索＞

表示する内容を、「絞込み検索」機能で項目毎に設定した条件で表示することができます。これは、たくさんあるデータの中から目的のデータを探し出すのに便利です。また、絞込み条件で常時表示することもできます。

＜画面 ５＞



＜フォルダの説明＞

送信ﾌｫﾙﾀﾞ（固有フォルダ）

FAX 送信データが格納されるフォルダです。ユーザ（クライアント）毎の固有フォルダのため、ユーザ毎の送信データだけが表示されます。従って、すべての登録ユーザのデータが表示されるわけではありません。逆に他のユーザから見られることのないフォルダです。

ただし、ユーザがサーバで設定されている場合は、すべてのユーザの送信データが表示されます。

（すべてユーザの送信データを表示させたくない場合は、クライアントで設定して下さい。）

共有ｽｷｬﾝﾌｫﾙﾀﾞ（共有フォルダ）

スキャナから読み込んだデータが格納されます。共有ですから全ての登録ユーザから参照･編集可能です。しかし、固有データとして送信または登録したい場合は、固有にしたいユーザ･パソコンで、「共有ｽｷｬﾝﾌｫﾙﾀﾞ」から「登録」（ファイリング）することで、操作を行ったユーザの送信フォルダにデータが移動します。共有のまま残してかつ FAX 送信する場合は、「転送」で行います。

共有受信ﾌｫﾙﾀﾞ（共有フォルダ）

FAX 受信したすべてのデータが格納されます。全ての登録ユーザから参照･編集可能です。

受信ﾌｫﾙﾀﾞ（固有フォルダ）

「共有受信ﾌｫﾙﾀﾞ」からのコピー、または「ユーザに配信」の機能で移動またはコピーしたデータが格納されます。「送信ﾌｫﾙﾀﾞ」と同様、固有フォルダのため、他のユーザから見られることはありません。ユーザがサーバで設定されている場合でも、他のユーザの受信データは表示されません。

住所録（共有フォルダ）

住所録登録を行ったデータが格納されます。全ての登録ユーザから参照･編集可能です。

ごみ箱（固有／共有フォルダ）

削除したデータ（住所録データは除く）が格納されます。共有フォルダからの削除であればすべてのユーザのごみ箱に表示されますが、固有の送信フォルダや受信フォルダから削除した場合は、削除したユーザのごみ箱にしか表示されません。

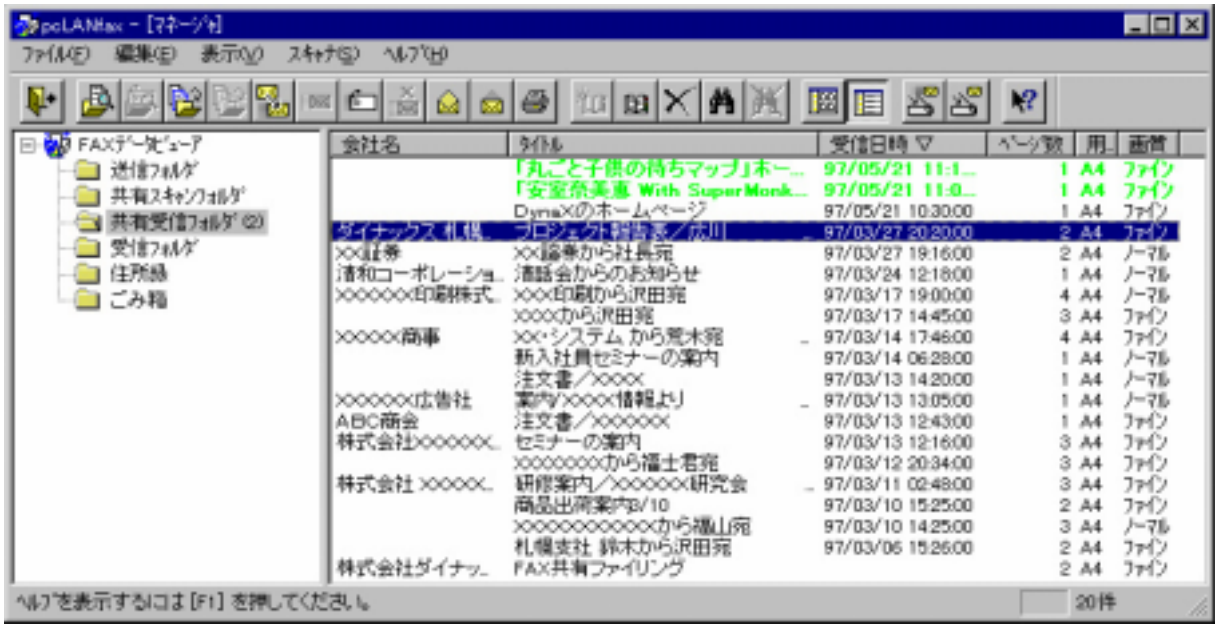
２．４．１ 受信 FAX の表示と配信

受信した FAX は、「共有受信ﾌｫﾙﾀﾞ」にすべて格納されます。「共有受信ﾌｫﾙﾀﾞ」をクリックすると右側に受信した FAX データが一覧（画面 ６．１）で表示され、未読の FAX はグリーンで識別されます。

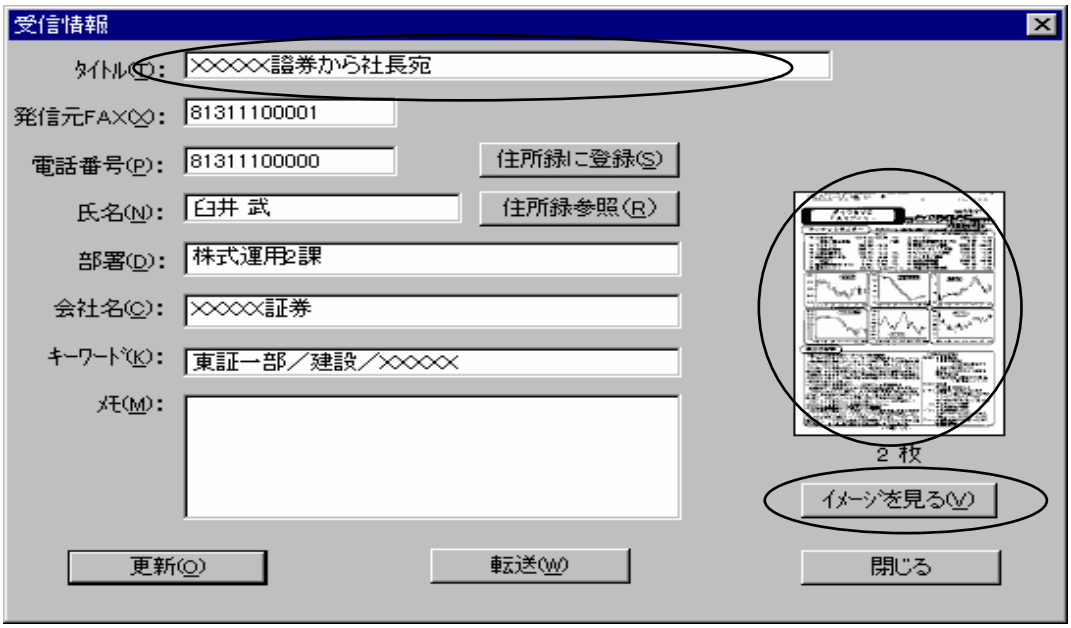
FAX の内容を見るには、見たい FAX 行にカーソルを合わせ、そこで「ｲﾒｰｼﾞを開く」のアイコンをクリックすると直接 FAX のイメージが開きます。また、見たい行をダブルクリックすると、受信情報（画面６．２）が開き、そこの縮小イメージをダブルクリックするか、または「ｲﾒｰｼﾞを見る」ボタンをクリックして見ることもできます。

一般的な使い方としては、未読 FAX 行の上でダブルクリックし、受信情報（画面６．２）から一旦 FAX イメージを開き、内容を確認した上で、内容が分かるようなタイトルを付け、その FAX の受取り先に「ユーザに配信」(画面６．３)の機能を使って配信します。

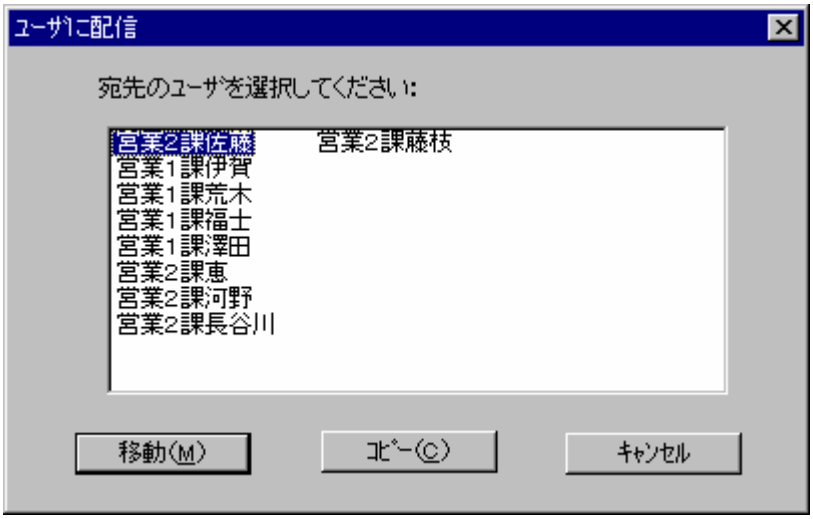
＜画面 ６．１＞



＜画面 ６．２＞ FAX の内容が分かるようなタイトルをつける



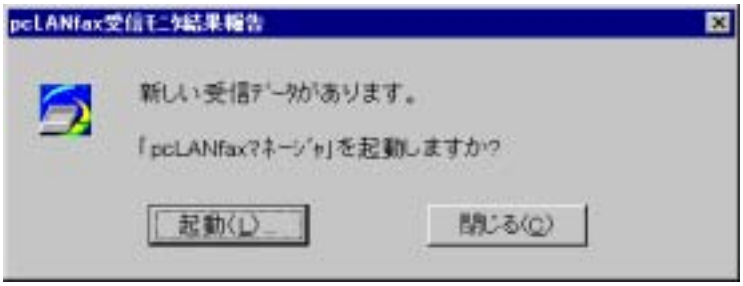
<画面 6．3>


ﾕｰｻﾞに配信
宛先のﾕｰｻﾞを選択してください:
営業2課佐藤
営業2課藤枝
営業1課伊賀
営業1課荒木
営業1課福士
営業1課澤田
営業2課恵
営業2課河野
営業2課長谷川
移動(M)
ｺﾋﾟｰ(C)
ｷｬﾝｾﾙ

２．４．２ FAX の受信･配信による通知とその設定

「pcLANfax 受信ﾓﾆﾀ」を起動しておくことで、新しく受信した FAX に対し、作業中でもポップアップ画面(画面７)と音で通知します。また、「ユーザに配信」の機能で新たに配信された場合も同様に通知します。

＜画面 7＞



受信モニタの設定は、プログラムの中の「☆pcLANfax☆」から「pcLANfax 受信ﾓﾆﾀ」を起動し、タスクバーのアイコンにカーソルを持っていき、そこでマウスの**右ボタン**をクリックすると、処理選択のポップアップ画面が表示されます。その中から「設定」を選択、この設定画面（画面８）より設定操作が行われます。

＜画面 8＞

＜通知する項目＞

- 「共有受信データにについて通知」　　共有受信データに全てについて通知します。
- 「受信データにについて通知」　　受信データについて通知します。

＜更新間隔＞（通知する項目がある場合のみ有効）

- 「起動時に更新」　　起動時に受信データを更新します。
- 「分毎の更新」　　受信データの更新間隔を指定します。
  （「起動時に更新」に関係なく更新されます）

＜受信通知方法＞（通知する項目がある場合のみ有効）

- 「メッセージを表示」　　データを受信すると、メッセージを表示し通知します。
- 「pcLANfax マネージャを起動」　　データを受信すると、pcLANfax マネージャを起動します。
- 「音声で通知」　　データを受信すると、音声で通知します。
  使用する音声ファイルを選択します。

２.４.３ 受信情報の機能

受信情報は、受信した FAX を管理するための情報です。通常は、未読 FAX を最初に開いた時に必要項目を設定します。何も設定しなくても受信日時、送信元の FAX 番号、受信原稿サイズ、受信モードが自動的で設定されます。しかし、FAX の内容をいちいち開かないでも分かるように、タイトル、氏名、会社名、部署、そしてキーワードなどを設定しておくと、後にデータを探すのに便利です。

また、住所録登録をしておくと、受信した FAX 番号とその登録が一致した場合、自動で氏名、会社名、部署が設定され、かつ一覧にも反映されます。

＜画面 ９＞

＜［住所録参照］ボタン＞

・FAX 番号、氏名、部署、会社名、電話番号を住所録から参照して表示します。

＜［住所録に登録］ボタン＞

・表示している FAX 番号、氏名、部署、会社名、電話番号を住所録に登録します。
こうして登録することで、次回から同じ FAX 番号で受信すると住所録から氏名、部署、会社名が自動で受信情報に登録され一覧表示にも反映されます。

＜［更新］ボタン＞

・ﾀｲﾄﾙ、発信元 FAX、電話番号、氏名、部署、会社名、ｷｰﾜｰﾄﾞ、メモなどの情報を関連づけてデータベースに登録を行います。

＜［ｲﾒｰｼﾞを見る］ボタン＞

・「pcLANfax 画像ﾋﾞｭｰｱ」を起動して FAX の内容をイメージで見ることができます。
又は、縮小表示されたイメージ･アイコンをダブルクリックすることでも見ることができます。

＜［転送］ボタン＞

・現在表示の FAX データをコピーして、他の宛先に FAX 送信することができます。

＜［閉じる］ボタン＞

・受信情報画面を閉じます。

２.５ FAX の送信

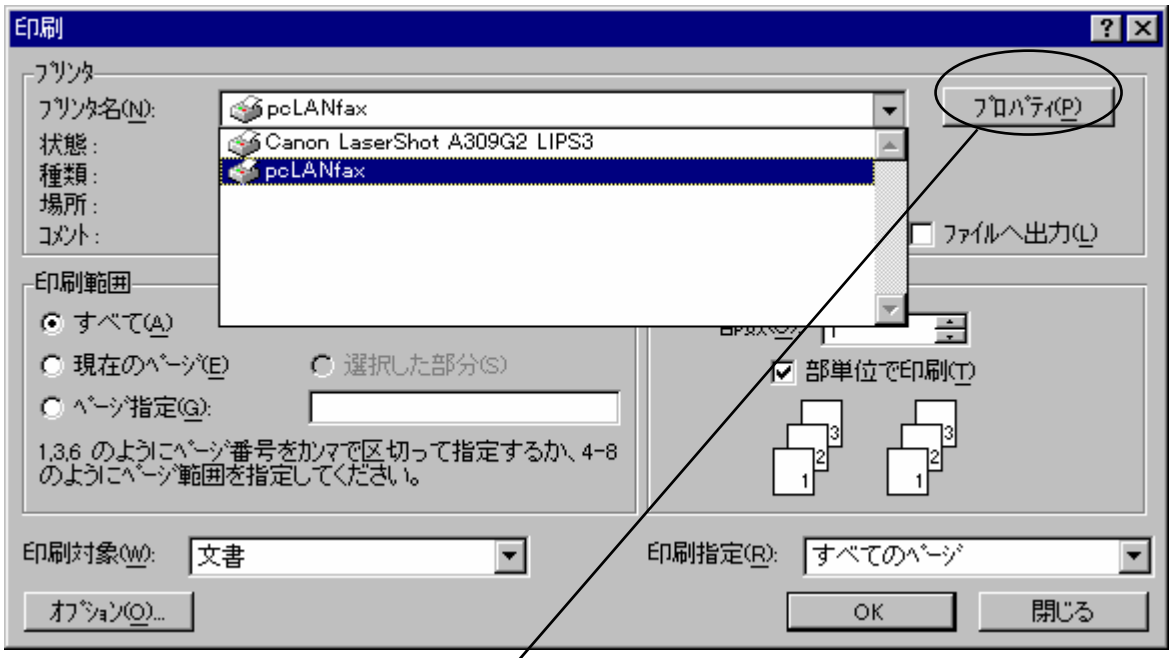
FAX を送信するには、次の４つの方法があります。

1)アプリケーション･プログラムから FAX 送信
2)スキャナからイメージを取込んで FAX 送信
3)送受信 FAX データを再利用して FAX 送信
4)送付表のみ FAX 送信

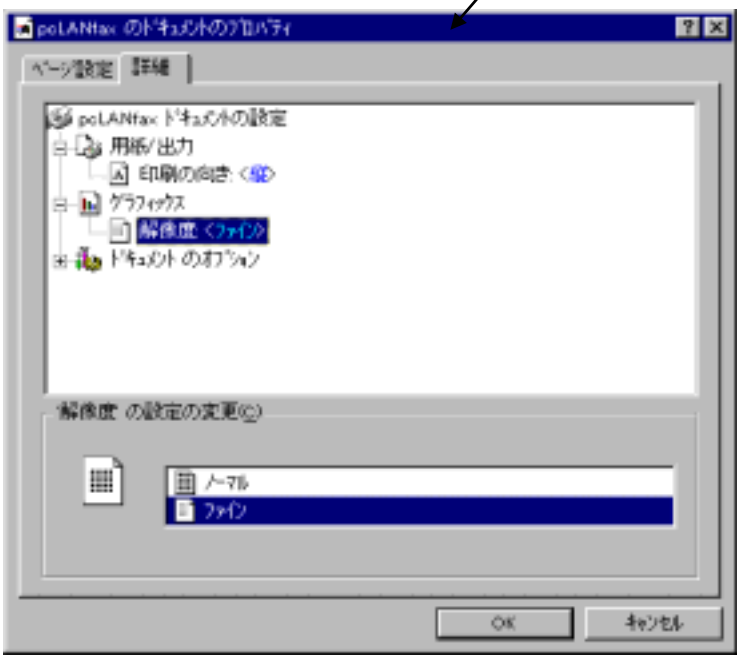
２.５.１ アプリケーション･プログラムから FAX 送信

ワープロや表計算やＤＴＰなど、一般のアプリケーション･プログラムのプリント機能で FAX 送信することができます。プリンター名を「pcLANfax」に指定（画面 10）し、続いて送信情報（画面 12～14）を設定して送信します。

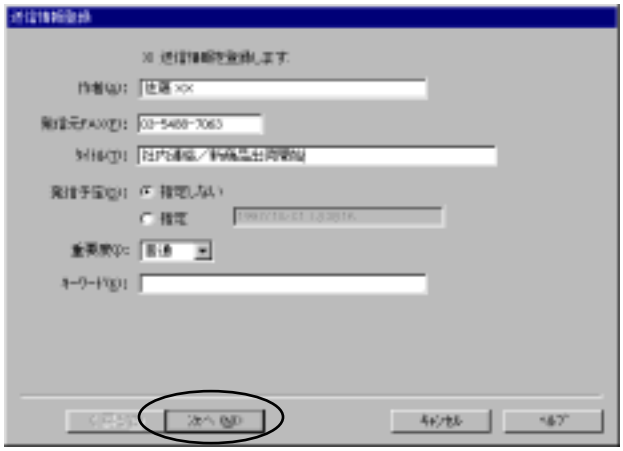
＜画面 １０＞



＜画面 １１＞



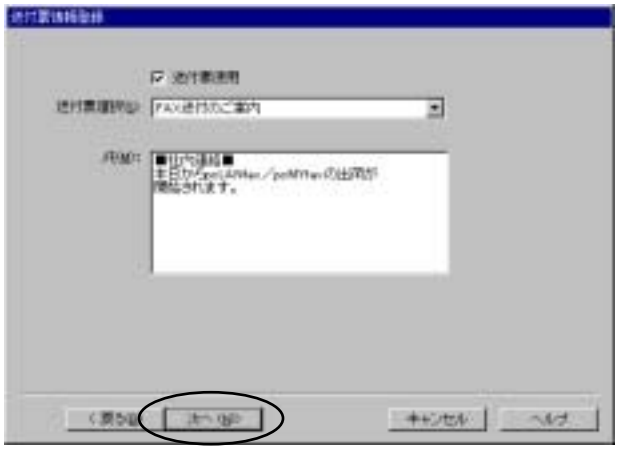
FAX 送信／登録 手順



＜画面 １２＞

＜送信情報登録＞

作者：送信元氏名
発信元 FAX：発信元の FAX 番号
タイトル：送信 FAX のタイトル
送信予定：送信日時を指定
　指定なし
　指定 →送信の年/月/日:時:分:秒
重要度：高い、普通、低い
(指定することで一覧表示を重要度順に
表示することができます)
キーワード：検索のための用語



＜画面 １３＞

＜送付票情報登録＞

送付票使用：チェックで使用する
送付票選択：送付票一覧から選択
メモ：改行を入れながら、表示枠
　　内に入るよう記入します。

＜画面 １４＞

＜送り先情報登録＞

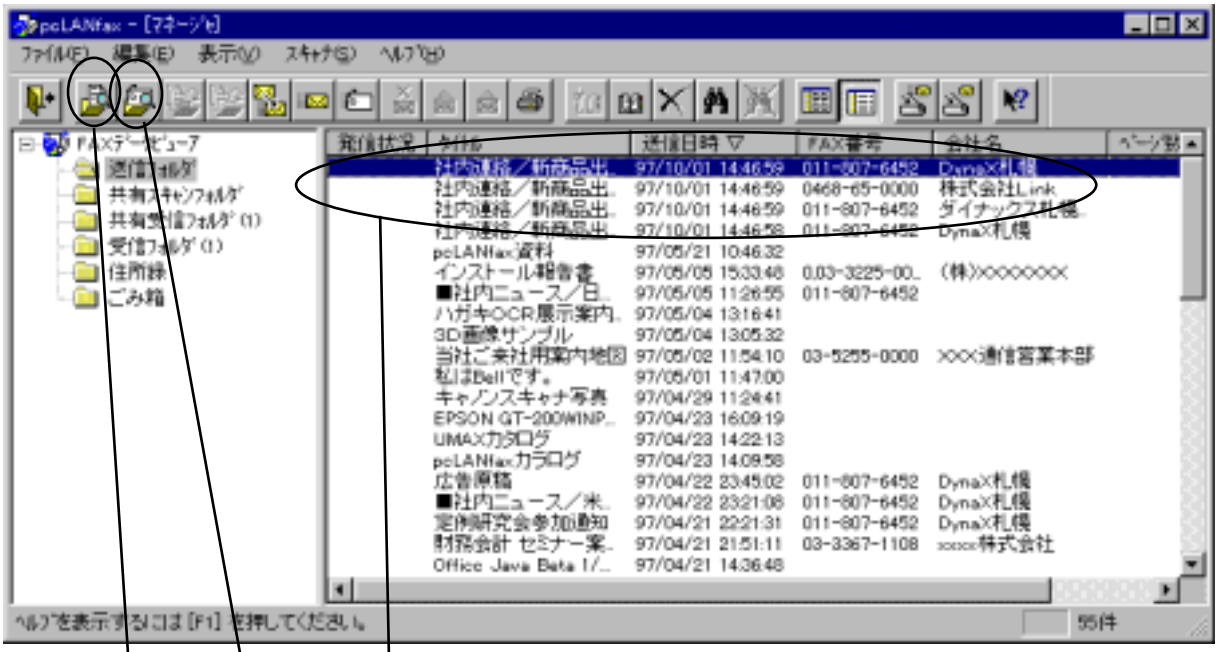
会社名：送り先の会社名
部署：送り先の部署
氏名：送り先の氏名
※FAX 番号：送り先の FAX 番号
※送り先一覧：同じ原稿の送り先を指定

※：送信の場合のみ必須入力です。

「住所録から追加」：住所録から送り先を選択し送り先一覧に登録。
「戻る」：一つ前の処理に処理を戻します。
「後で送信」：直接 FAX せずに送信フォルダに登録します。（送付票や FAX 原稿を一旦確認する場合、もしくはファイリングだけが目的の場合）
「送信」：最低１件の送り先指定が必要です。
「ｷｬﾝｾﾙ」：これまでの設定を無効にします。

上記の一連の処理で、送信フォルダに登録（画面１５）され、送信であれば送信予定と重要度にしたがって送信されます。

＜画面１５＞



●送信先指定された件数分が新規に登録されます。

●送付票表示ボタンで送付票の内容を事前に確認できます。

●FAX イメージ表示ボタンで送信 FAX の内容を事前に確認できます。

２.５.２ スキャナからイメージを取込んで FAX 送信

スキャナから画像を読み込んで FAX 送信するには、次の２通りの方法があります。

（１）読み込み後、すぐに読み込んだパソコンから FAX 送信

① 「ｽｷｬﾅ」メニューの「読み込み送信」を選択します。
② 「データ取込」ボタンでイメージの読み込みを開始します。読み込みは連続して行うことができます。
③ 読み込みが終わったら「データ保存」ボタンをクリックします。
④ アプリケーション･プログラムからの FAX 送信と同様の手順（画面１２～１４）で送信情報を設定して送信します。

（２）読み込み後、読み込んだパソコン以外から FAX 送信

① 「ｽｷｬﾅ」メニューの「読み込み」をクリックします。
② 「データ取込」ボタンでイメージの読み込みを開始します。読み込みは連続して行うことができます。
③ 読み込みが終わったら「データ保存」ボタンをクリックします。
④ 読み込んだデータは「共有ｽｷｬﾝﾌｫﾙﾀﾞ」に格納されます。
⑤ 「共有ｽｷｬﾝﾌｫﾙﾀﾞ」をクリックします。
⑥ 送信したいデータをダブルクリックします。下の画面のようにスキャナから読み込んだ状態が表示されます。
⑦ ［送信］または［転送］ボタンをクリックします。
（送信は、原稿が「共有ｽｷｬﾝﾌｫﾙﾀﾞ」から送信フォルダへ移動し、転送は「共有ｽｷｬﾝﾌｫﾙﾀﾞ」に原稿を残したまま送信フォルダにも転送します）
⑧ アプリケーション･プログラムからの FAX 送信と同様の手順（画面１２～１４）で送信情報を設定して送信します。

＜画面１６＞

２.５.３ 送受信 FAX データを再利用して FAX 送信

pcLANfax マネージャの FAX 一覧から、次の手順で FAX 送信します。
送信しようとする FAX データを選択（該当行でクリック）します。
選択できるフォルダは、住所録を除くすべて（ごみ箱も可）のフォルダで可能です。

選択した行の上でダブルクリックするか、「編集」アイコンをクリックして送信情報画面（画面１７）を開きます。

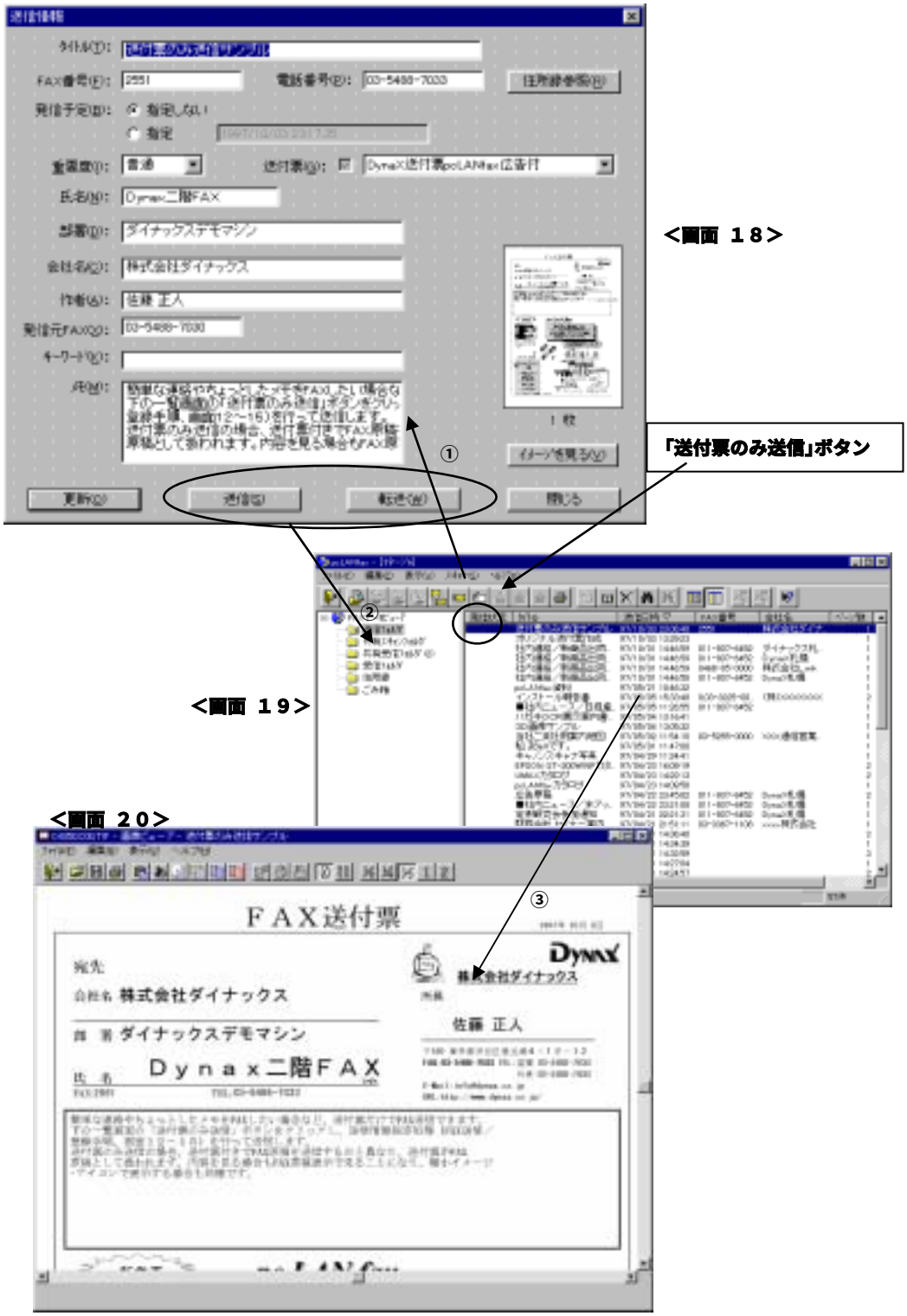
<画面 １7>

タイトルからメモまで変更する箇所を入力します。
このとき、送信先の氏名、会社名、部署、FAX 番号、電話番号は、「住所録参照」ボタンをクリックして住所録から選択して入力することもできます。

最後に、「送信」か「転送」をクリックして実際に FAX を送信します。
このとき、「送信」は、今の内容を変更して送信するため、変更前のデータは残りません。逆に、「転送」なら、変更前のデータをコピーして送信するため、変更前のデータはそのまま残ります。
また、選択した送信データが送信フォルダの場合のみ、最後に「送信」ボタンをクリックするだけで即座に送信となります。しかし、送信フォルダからの転送や送信フォルダ以外のデータを送信または転送しようとした場合は、送信情報の設定（画面１２～１４）を行い送信または登録します。

２.５.４ 送付票のみ FAX 送信

簡単な連絡やちょっとしたメモを FAX したい場合など、送付票だけで FAX 送信できます。
下の一覧画面（画面１９）の「送付票のみ送信」ボタンをクリックし、送信情報（FAX 送信／登録手順、画面１２～１４）を設定して送信します。
送付票のみ送信の場合、送付票付きで FAX 原稿を送信するのと異なり、送付票が FAX 原稿として扱われます。内容を見る場合も FAX 原稿表示で参照します。縮小イメージ･アイコンで表示する場合も同様です。



２.６ FAX データを見る(pcLANfax 画像ビューア)

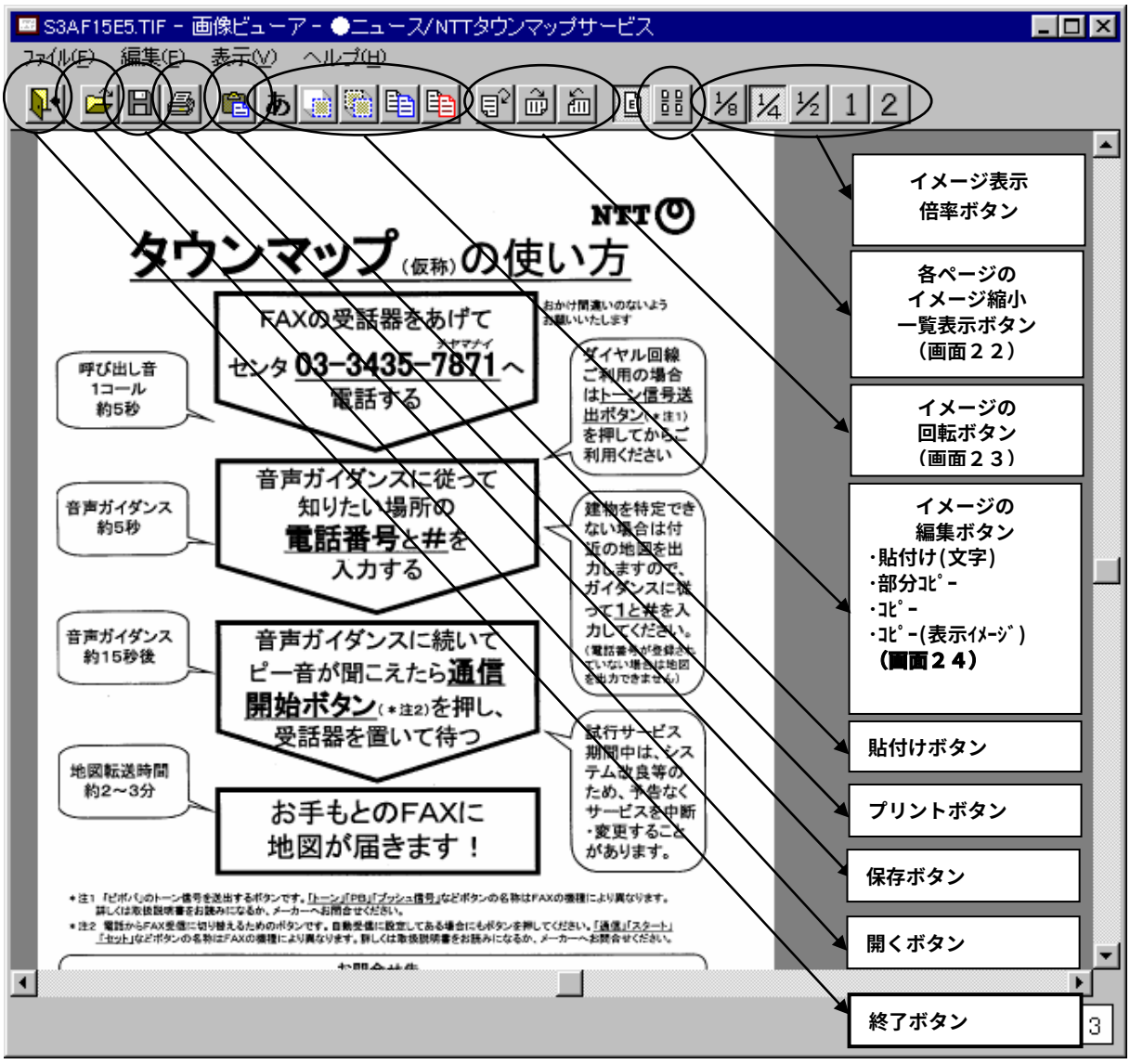
pcLANfax の基本画面(画面１)で住所録を除く各フォルダから、ツールバーの「イメージを開く」で原稿のイメージを見ることができます。また、縮小イメージ一覧、「編集」画面の中の縮小イメージ・アイコン、のイメージをダブルクリックすることで見ることもできます。

見ようとするファイルが複数ページある場合は、右下に表示されているページ番号を直接クリックすることで、指定ページが開きます。また、各ページを縮小して一覧にして表示することもでき、その縮小アイコンをクリックすることでも開きます。

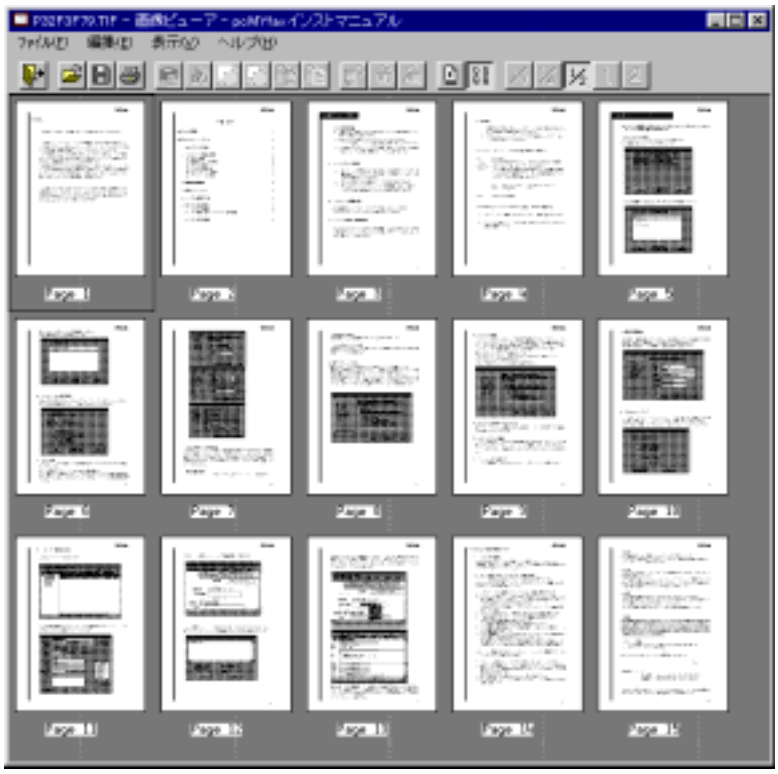
表示は、表示倍率を変えたり、回転させたりすることができ、イメージの移動も、右と下のカーソルバーで移動する他に、イメージ画面の中を移動させたい位置からマウスで直接ドラッグして動かすことができます。

なお、「pcLANfax 画像ﾋﾞｭｰｱ」の機能には、イメージを見るだけでなくイメージの一部を切取ったり、イメージに文字を書き入れたり、複数の FAX を開いてページの差替えを行ったり、ページの追加・削除といった編集も行えます。

<画面 ２１>



<画面 ２２>　各ページのイメージ･アイコン一覧



■一覧ｱｲｺﾝから見たいページがすぐ開けます。

■見たい大きさも、２倍、1.5 倍、等倍、1/2、1/3、1/4、1/5、1/6、1/8 倍を選ぶことができます。

■表示イメージの移動も、イメージを直接ドラッグして動かすことができます。

■イメージでの編集は、２つ以上のファイルを同時に開いて、ファイル間でページを差し替えたり、コピーすることができます。もちろん白紙ページの挿入も可能です。

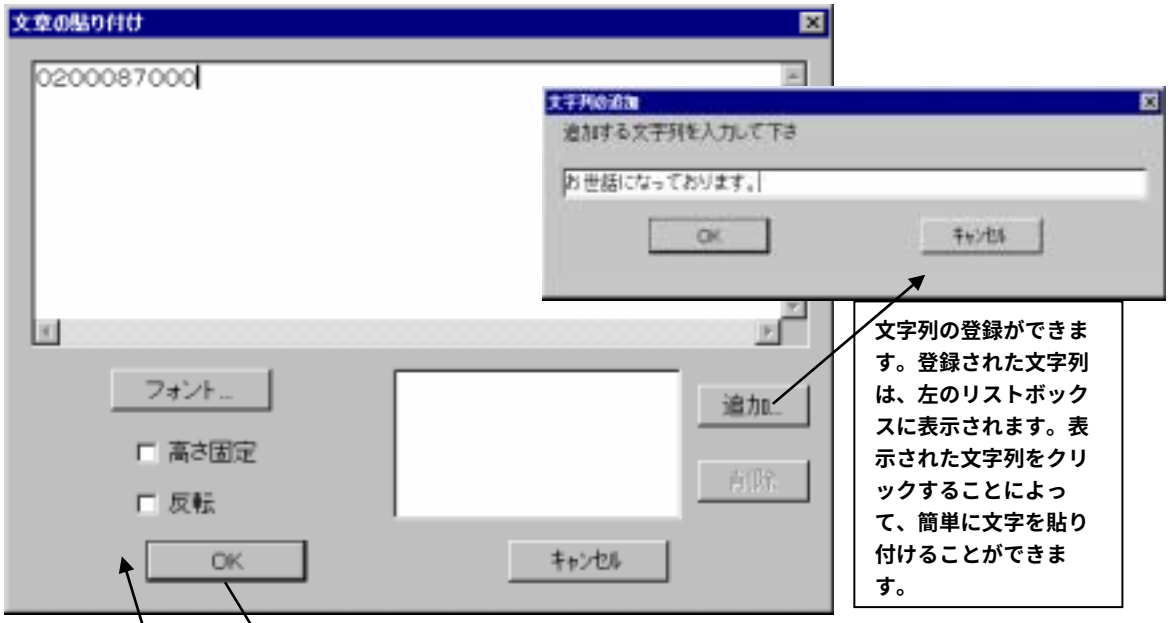
■イメージを部分的に切取ってスクラップができます。

<画面 ２３> イメージの回転

２.７ FAX データを編集する

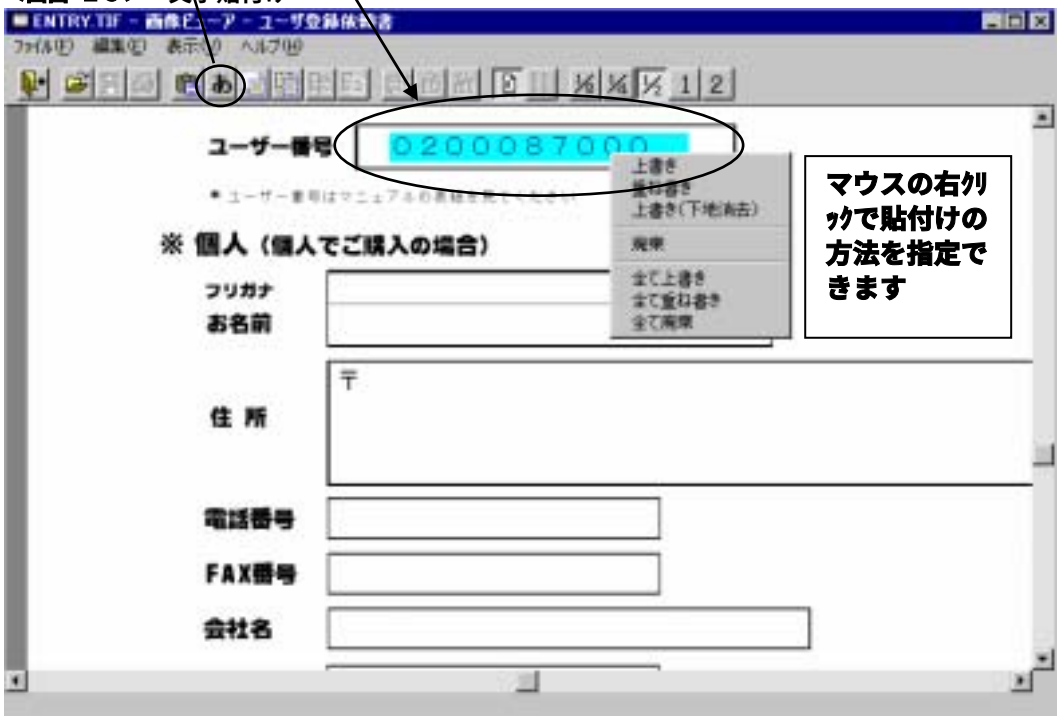
pcLANfax は、FAX で受信した申込書や請求書に文字を書き入れたり、原稿イメージの一部またはページ全体をコピーして貼付けたり、切り取り編集を行うことができます。

＜画面 ２４＞ 文字入力ウインドウ



・「高さは固定」にチェックすると、貼り付けるときにドラッグ＆ドロップで文字が自由に拡大・縮小しません。
・「反転」にチェックをすると、文字が白抜で貼り付けられます。

＜画面 ２５＞ 文字貼付け



＜貼付けたイメージに対する操作＞

貼付けたイメージは、書き込みを行うまでは水色で表示され、位置や大きさなどの変更が可能です。書き込みには、貼付けたイメージの下のイメージと重ね合わせて書き込む「重ね書き」、貼付けイメージを上書きする「上書き」が用意されています。また、貼付けも貼付けようとするイメージ（水色の個所）を個々に指定して貼付ける方法と、すべてのイメージを一度の貼付けてしまう方法があります。

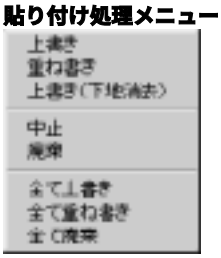
注）pcLANfax は白黒イメージだけを処理対象としているため、カラーイメージをクリップボードを通して貼付けると水色に表示されません。

＜移動の方法＞
移動したいイメージにカーソルをのせ、十字カーソルとなったところでドラッグ＆ドロップで移動します。

＜大きさの変更方法＞
イメージの境界線（水色表示の周り）にカーソルをのせ、下のカーソルの形状となったところでドラッグ＆ドロップで拡大･縮小します。

＜イメージの貼付け方法＞
イメージの貼付けは、貼付けしようとする水色部分のイメージにカーソルをのせ、そこでマウスの**右ボタン**をクリックすることで、次のような貼付け処理方法のメニューが表示されるのでそこから選択します。

貼り付け処理メニュー



① **上書き／全て上書き**
指定した（マウスで指している位置）水色部分だけのイメージ、または全てを上書きして貼付けます。

② **重ね書き／全て重ね書き**
指定した（マウスで指している位置）水色部分だけのイメージ、または全てを元の原稿のイメージに重ねて貼付けます。

③ **上書き（下地消去）**
貼付けようとする水色部分のイメージ部分だけを残す形で貼付けます。従って、下地となっている元の原稿が削除されます。

④ **廃棄／全て破棄**
指定した（マウスで指している位置）水色部分だけのイメージ、または全てを破棄します。

⑤ **中止**
貼付け作業を中止します。

２.８ FAX データを印刷する

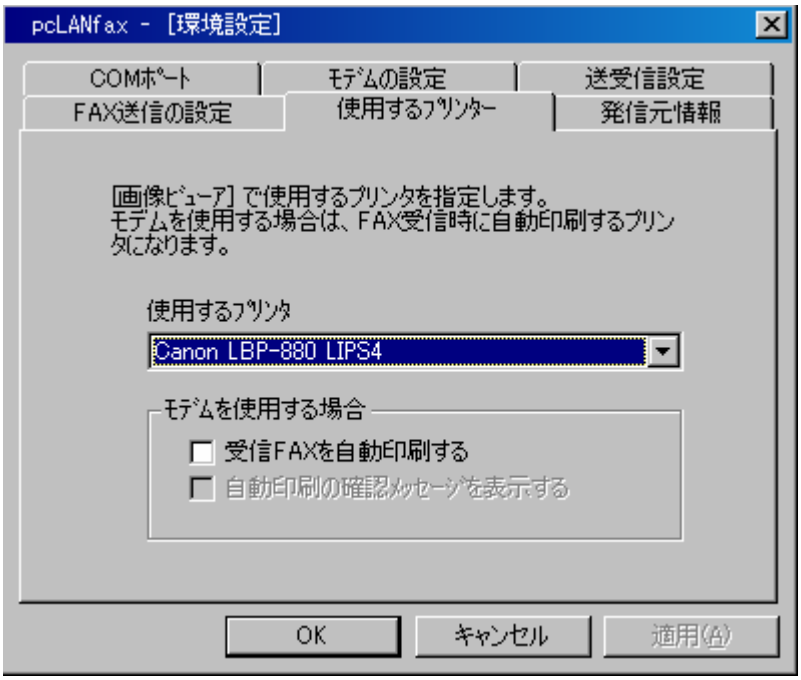
pcLANfax は、FAX を受信すると同時に自動印刷することもできれば、基本画面（画面１）から指定する原稿のすべてを印刷したり、原稿を表示して指定するページだけを印刷することができます。

受信 FAX を自動印刷するには、pcLANfax プログラムグループから「pcLANfax 環境設定」を起動（画面２６）し、「使用するプリンター」で次の設定を行います。

・受信 FAX を自動印刷する　　：これをチェックすることで設定されたプリンターに受信 FAX を自動でプリントします。

・自動印刷の確認ﾒｯｾｰｼﾞを表示する　：「受信 FAX を自動印刷する」と設定した場合さらにここをチェックすると、プリントの直前で出力するしないをメッセージで確認できます。

＜画面２６＞



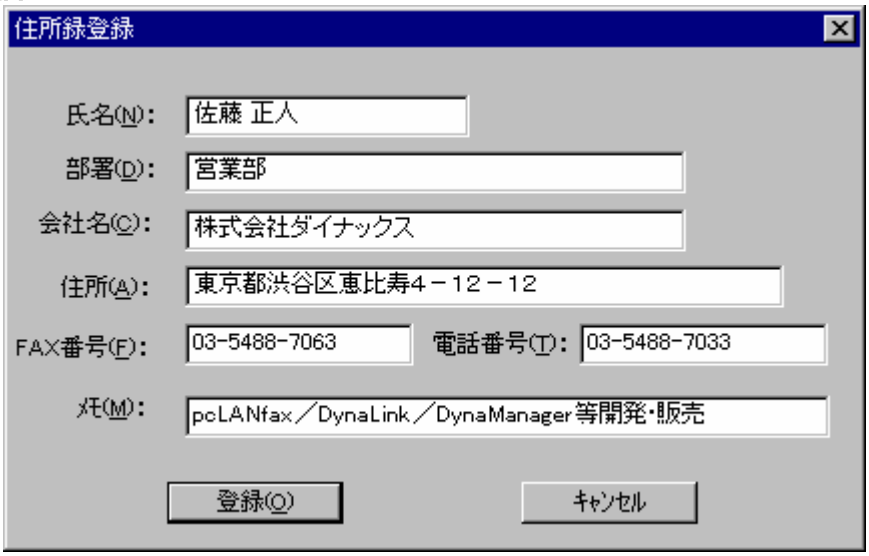
２.９　住所録の登録

FAX 番号などをあらかじめ登録しておくと、住所録から参照して送信、または受信 FAX に対して受信情報の管理項目の設定ができます。FAX 送信や FAX 受信を頻繁に行う相手に対しては、登録することをお勧めします。

住所録は、「住所録」フォルダに格納されています。「住所録」をクリックすると登録されている住所録の一覧が表示されます。登録内容の変更は、この一覧から該当データをダブルクリックすることで「住所録登録」（画面２７）で行います。

新規に登録する場合は、「編集」メニューの「新規作成」をクリックするか、ツールバーの「新規作成」ボタンで行います。しかし、効率よく登録するには、FAX を受信した後の FAX 内容の確認と同時に行う「２.４.３ 受信情報の登録」処理の中で、「住所録に登録」で行うのがもっとも簡単で確実です。

＜画面 ２７＞



「登録」：設定した内容を登録します。
「ｷｬﾝｾﾙ」：それまでに設定した内容を破棄します。

２.１０ pcLANfax ﾓﾃﾞﾑ制御

バックグラウンドでモデム本体に対して FAX の送受信を行うプログラムです。
この「pcLANfax ﾓﾃﾞﾑ制御」が起動していないと FAX の送信･受信は行われません。

通常はアイコン化されています。モデムの制御には、ソニー株式会社製メモリ付 FAX モデム（メモリー付きＳＭＤシリーズ）と、一般のＦＡＸモデムの２つがあり、それぞれを白と黄色のアイコンで区別して表示します。
また、その制御も大きく異なります。ソニー株式会社製メモリ付 FAX モデムの場合は、モデム本体で実際の FAX 送受信を行うため、モデムへの指示と結果の受け渡し制御となります。これに対し、一般の FAX モデムの場合は、モデムを介して実際の FAX 送受信までを行います。

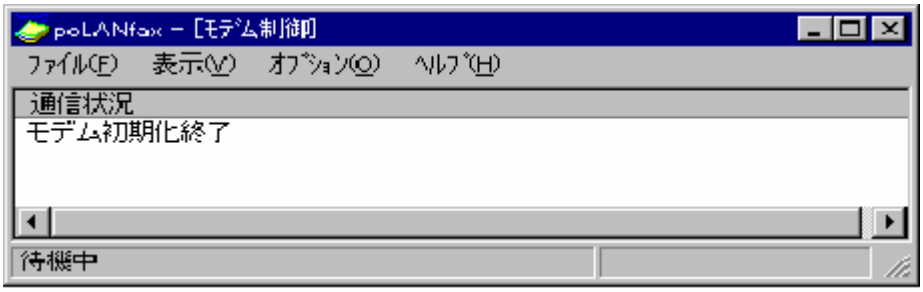
モデム制御の内容を見る場合は、タスクバーのアイコンをクリックすることでﾓﾃﾞﾑ制御画面が表示されます。

＜画面 ２８＞ ※１ ソニー株式会社製メモリ付 FAX モデム （アイコンが白）

ソニー株式会社製メモリ付 SMD シリーズの場合、「pcLANfax ﾓﾃﾞﾑ制御」が起動していないと、FAX をモデムまで受信していてもパソコンには取込まれません。
また、FAX を受信（RECEIVED ランプが赤く点灯）しているのにモデムから FAX 取り込みが行われない場合や、FAX 送信を行ったのにもかかわらずモデムにデータを転送しない場合は、モデムのリセットを行って下さい。モデム内に書き込まれたデータを失うことなく初期化できます。モデム本体の電源を切った場合も初期化されますが、同時にモデム内のデータも失われますのでご注意下さい。
＜リセットの手順＞
① モデム全面の[FAX メモリー受信]ボタンを３秒以上押し続ける。
② モデムから「カチッ」と音がする。

詳しくはモデムに添付されている「取扱説明書」をご覧下さい

＜画面 ２９＞ ※２ 一般の FAX モデム（アイコンが黄）



２．１１ pcLANfax 環境設定

セットアップ時に登録した初期設定値を変更するツールです。
起動するにはプログラムグループの「☆ pcLANfax ☆」の「pcLANfax 環境設定」をクリックします。設定内容の変更は、変更したい項目のタグをクリックして行います。

＜画面 ３０．１＞

pcLAnfax 導入ガイド　２．１．３　モデムの設定　を参照して下さい。

＜画面 ３０．２＞

・「Ａ４以上のサイズは縮小する」：Ａ４以上のサイズはＡ４に縮小する。

pcLAnfax 導入ガイド　２．１．３　モデムの設定　を参照して下さい。

<画面 ３０．３>

ソニー株式会社製メモリ付 FAX モデム使用の場合

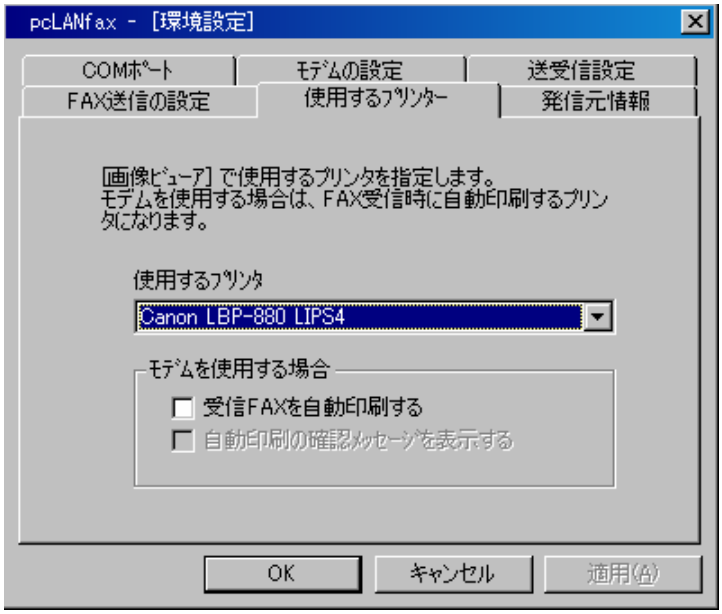
- **自動受信する　　：FAX を自動受信する。**
- **送信元情報を下の余白に表示する：送信元情報を表示する。**
- **自動送信する　　：FAX を自動送信する。**

一般のモデムを使用の場合は使用致しません
（pcLANfax ﾓﾃﾞﾑ制御で設定して下さい）

<画面 ３０．４>

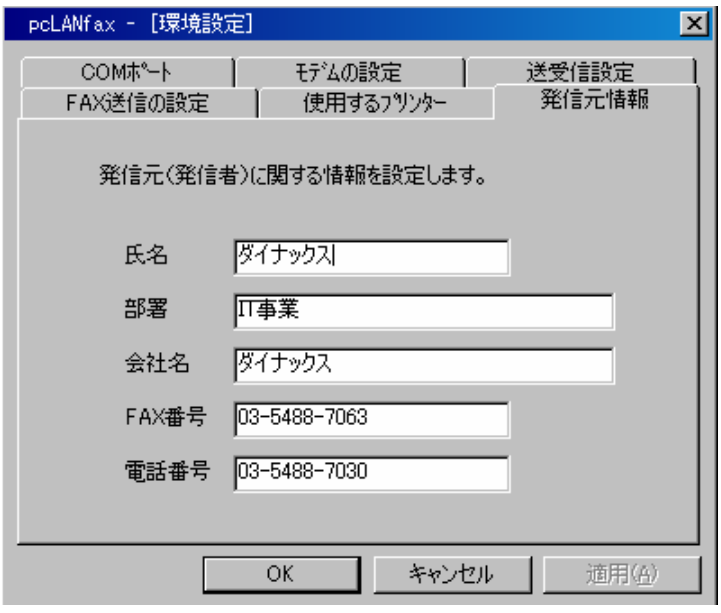
pcLAnfax 導入ガイド　２．１．３　モデムの設定　を参照して下さい。

＜画面 ３０．５＞



２．８　.FAX データを印刷する　を参照して下さい。

＜画面 ３０．６＞



pcLAnfax 導入ガイド　２．１．５　発信元登録　を参照して下さい。

２.１２ 送付票エディタ

pcLANfax では、実際に FAX 送信する原稿の前に送付票を付けることができます。「送付票ｴﾃﾞｨﾀ」はこの送付票の作成や編集を行うツールです。

起動するにはプログラムグループの「☆ pcLANfax ☆」の中の「pcLANfax 送付票ｴﾃﾞｨﾀ」をクリックします。使い方については、この後の「オリジナル送付票の作り方」の中で説明していきます。

２.１２.１ オリジナル送付票の作り方

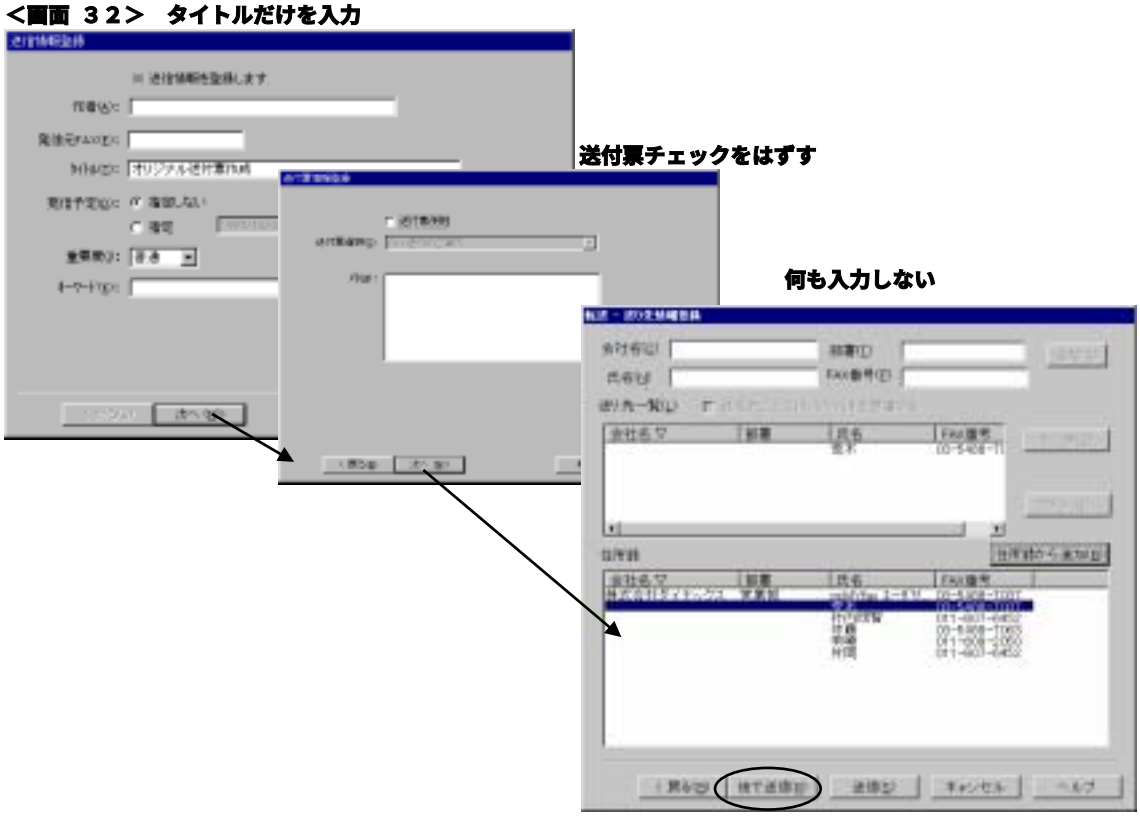
次の手順でオリジナルの送付票が作成できます。

１）まず、ワープロなどでオリジナルの送付票を作成します。

＜画面 ３１＞ Microsoft Word で作成中のオリジナル原稿例

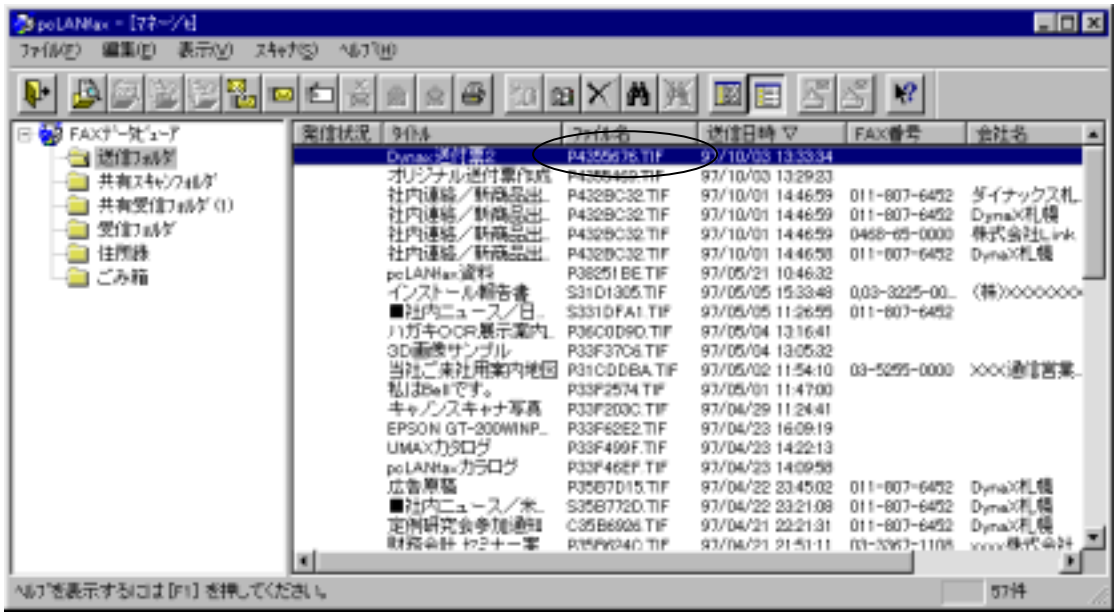
2）作成したワープロソフトからプリントで pcLANfax に登録します。

＜画面 ３２＞　タイトルだけを入力



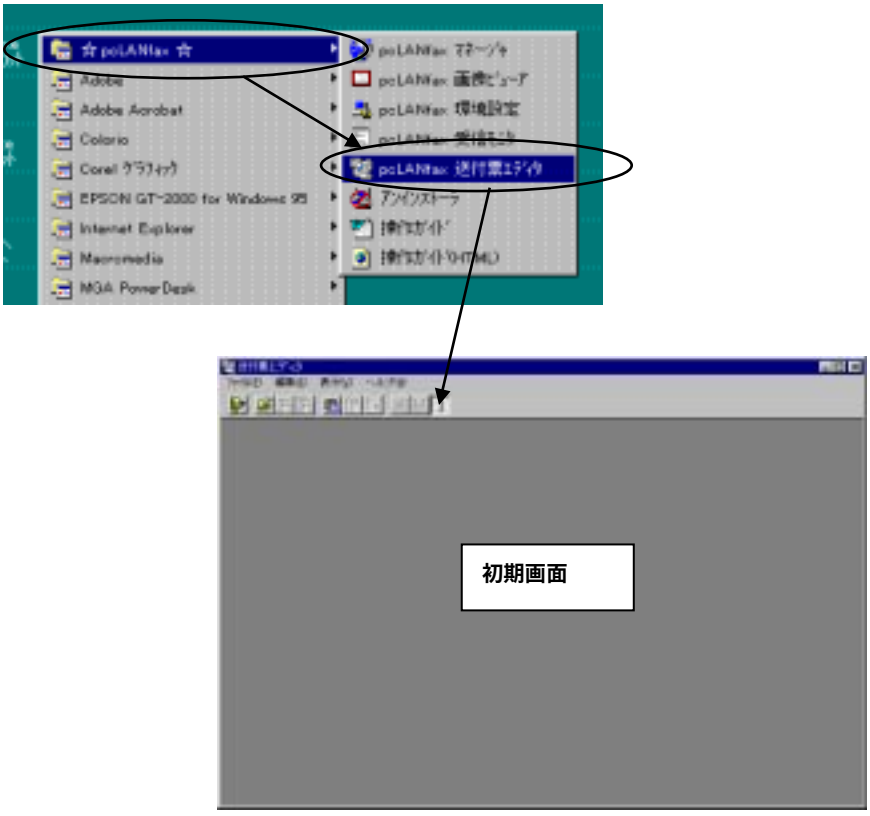
3）pcLANfax の送信フォルダー覧で 2)で登録した原稿のファイル名をメモします。

＜画面 ３３＞



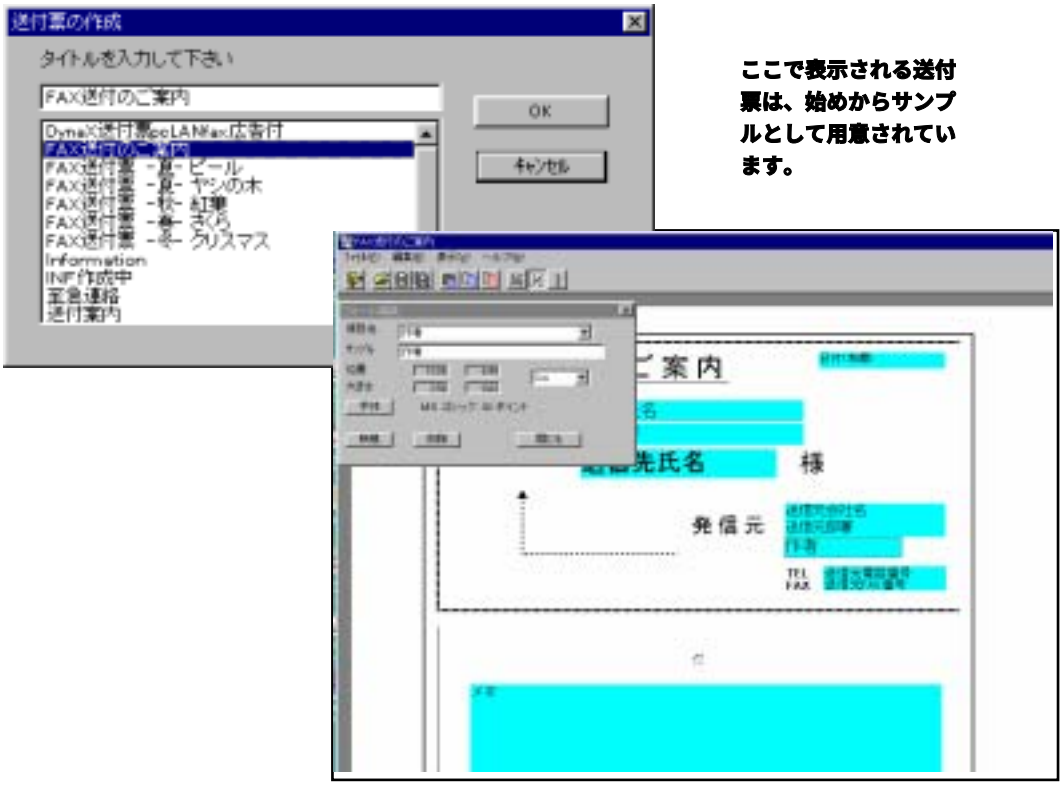
４）「送付票ｴﾃﾞｨﾀ」をプログラムグループの「☆ pcLANfax ☆」から起動します。

＜画面 ３４＞



５）ツールバーにある「開く」ボタンで送付票の選択画面からサンプルの「FAX 送付のご案内」を選択して開きます。

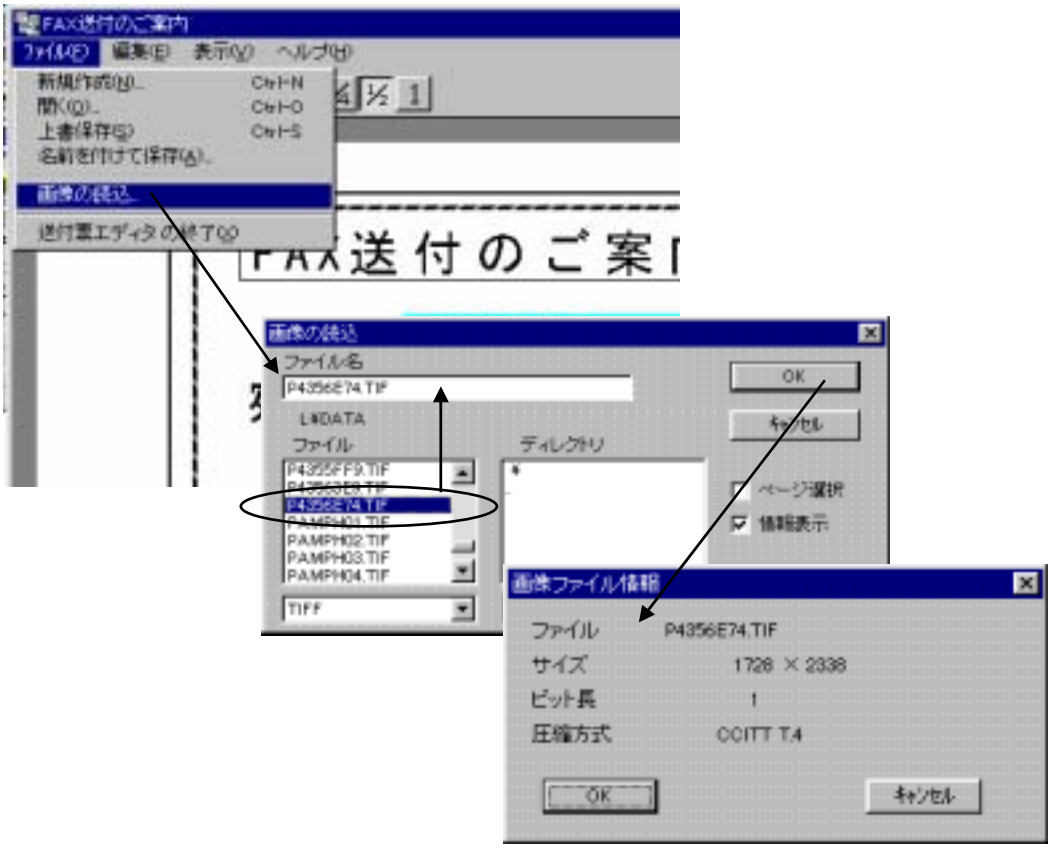
＜画面 ３５＞



ここで表示される送付票は、始めからサンプルとして用意されています。

6）ファイルの中の「画像読込」で、２）で登録した原稿を pcLANfax の共有データの中の DATA フォルダから ３）でメモしたファイル名を探して開きます。

＜画面 ３６＞



この時点で、先ほどのサンプル送付票の下地に代わってオリジナルの原稿と入れ替わります。

＜画面 ３７＞

7）送信先会社名や送信先名などドラッグ＆ドロップで所定の位置に移動します。不足の項目は追加し、不要な項目は削除します。

・項目の編集　　：水色になっている項目を選択した後、編集の中の「フォーム編集」で開きます。
・項目移動・大きさ：水色になっている項目を選択して直接変更できます。
・項目の追加　　：「フォーム編集」の中の「新規」で編集項目一覧が開くのでそこで追加したい項目を選択します。
・項目の削除　　：削除したい項目をクリックし、「フォーム編集」画面の「削除」で行います。

＜画面　３８＞　オリジナル原稿に送付票項目を移動・編集

＜送付票項目の選択の方法＞
移動したいイメージにマウスカーソルをのせ、そこでクリックすることで、その項目が選択となります。

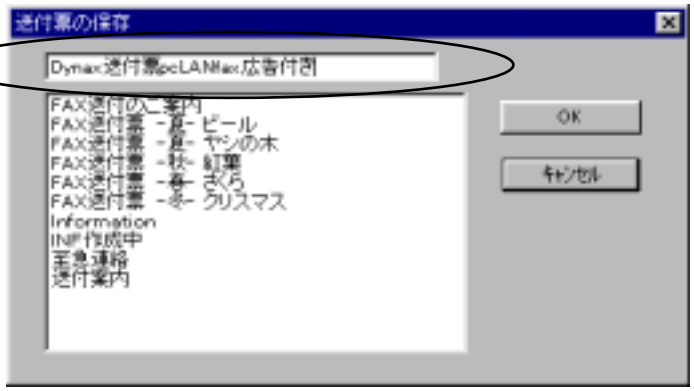
＜送付票項目の移動の方法＞
事前に移動したい項目を選択し、その項目の上でドラッグ（つかむ）＆ドロップ（離す）で移動します。

＜貼付けようとする項目の拡大･縮小の方法＞
事前に拡大・縮小したい項目を選択し、その項目の境界線（水色表示の周り）にカーソルをのせ、下のカーソルの形状となったところでドラッグ（つかむ）＆ドロップ（離す）で拡大･縮小します。

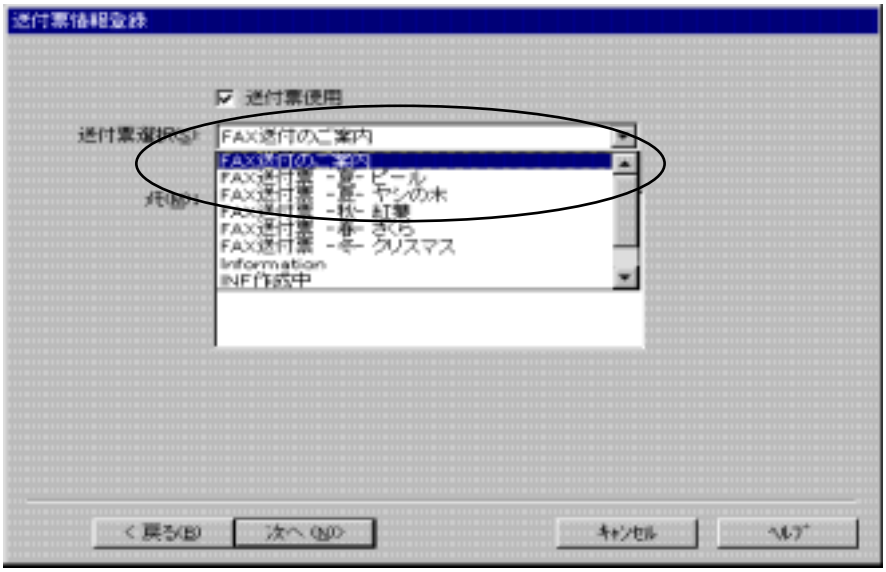
カーソルの形状	↗　↔

８）編集が完了したらファイルの中の「名前を付けて保存」で送付票の保存画面（画面３９）が表示されます。そこで、一覧の上の空欄に新たに登録する送付票の名前を入力して登録します。

＜画面 ３９＞



＜画面 ４０＞



ここで付けた名前は、FAX 送信する際に送付票を選択するところで一覧で表示されます。

２.１３ メニューバーの説明

メニューバーで選択できる各機能について説明します。

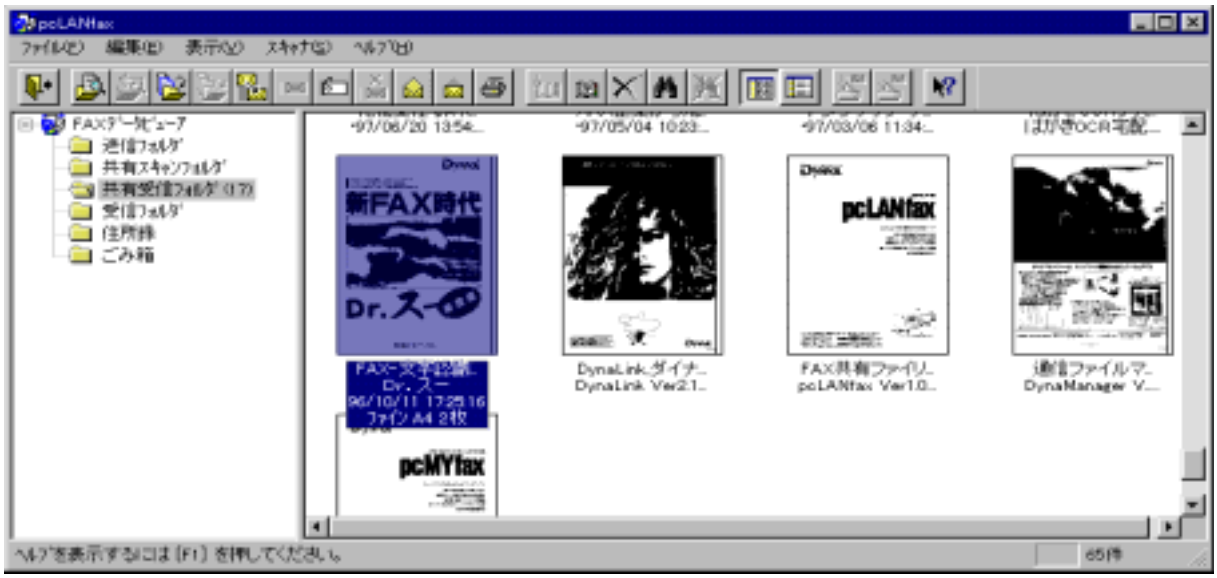
２.１３.１ マネージャ（基本操作画面）

＜ファイル＞	
コマンド	機能
ﾃﾞｰﾀﾌｫﾙﾀﾞの変更	データのフォルダを変更する。
ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽの最適化	断片化されたデータベースを最適化する。
ﾕｰｻﾞ設定	ﾕｰｻﾞﾌｫﾙﾀﾞの変更を行う。
ｲﾒｰｼﾞを開く	「pcLANfax 画像ﾋﾞｭｰｱ」を利用して表示を行います。
送付票を開く	添付した送付票を「pcLANfax 画像ﾋﾞｭｰｱ」を利用して表示を行います。
ﾕｰｻﾞに配信	「共有受信ﾌｫﾙﾀﾞ」（共有フォルダ）のデータを個別のユーザ（固有フォルダ）に移動またはコピーを行います。
共有受信ﾌｫﾙﾀﾞに戻す	受信ﾌｫﾙﾀﾞ」（固有フォルダ）のデータを「共有受信ﾌｫﾙﾀﾞ」に移動またはコピーを行います。
転送	選択したデータをコピーしFAX送信します。選択したデータはそのまま残ります。
送信	選択したデータをFAX送信します。
送付票のみの送信	送付票のみのFAX送信を行います。
送信取消	FAX送信を行ったデータに対して送信の取り消しを行います。ただしタイミングによっては取り消されない場合があります。
開封にする	内容の確認（表示）を行っていない緑色表示のFAX受信データを、開封したものとして通常表示にします。
未開封にする	開封済みのFAX受信データを、未開封の緑色に表示を変えます。
印刷	イメージファイルのプリンタへの印刷を行います。
ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝの終了	「pcLANfax ﾏﾈｰｼﾞｬ」を終了します。

＜編集＞	
コマンド	機能
元に戻す	編集を行っているデータを元に戻します。
新規作成	住所録に新規登録を行います。
編集	すでに登録されているデータの更新を行います。
削除	選択したデータの削除を行います。
すべて選択	表示しているフォルダ内のデータをすべて選択します。
絞込検索	表示している項目に対して最大４つの条件を指定し検索を行うことができます。検索結果に対してさらに検索を実行することでデータの絞り込み表示が可能です。
絞込検索解除	絞込検索を終了し、すべてのデータの表示を行います。
整列	表示している項目（送信状態、タイトル、ページ数など）から１つを選び、昇順、降順で再表示します。

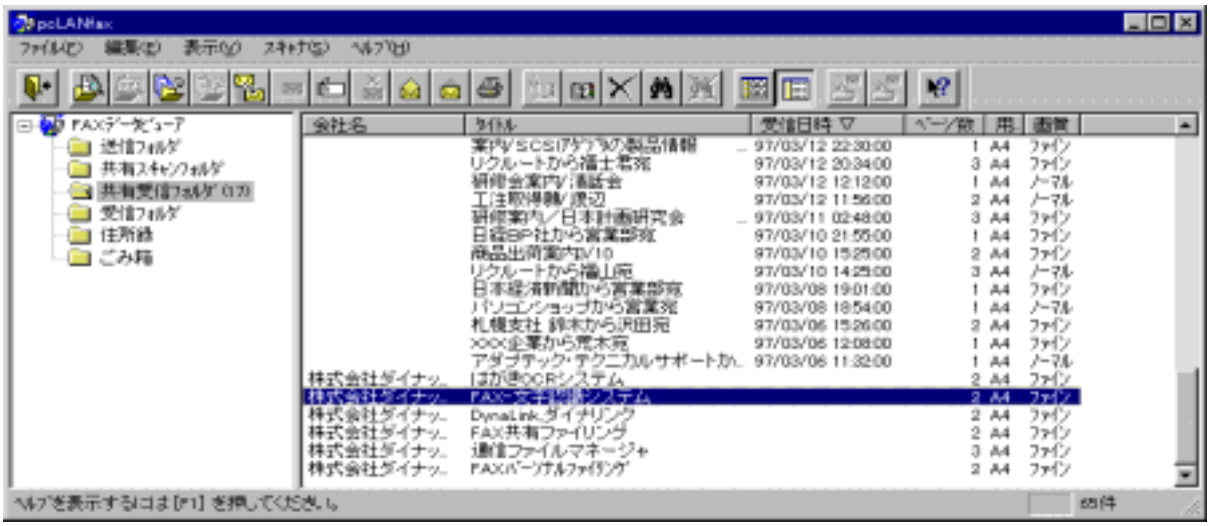
＜表示＞	
コマンド	機能
ﾂｰﾙﾊﾞｰ	ﾂｰﾙﾊﾞｰ表示の有無を指定します。
ｽﾃｰﾀｽﾊﾞｰ	ｽﾃｰﾀｽﾊﾞｰ表示の有無の指定します。
分割	フォルダとデータの境界線の位置を変更できます。
ｲﾒｰｼﾞ	縮小イメージを使ったアイコン表示を指定します。

＜画面４１＞



一覧	１ファイルを１行にして表示します。

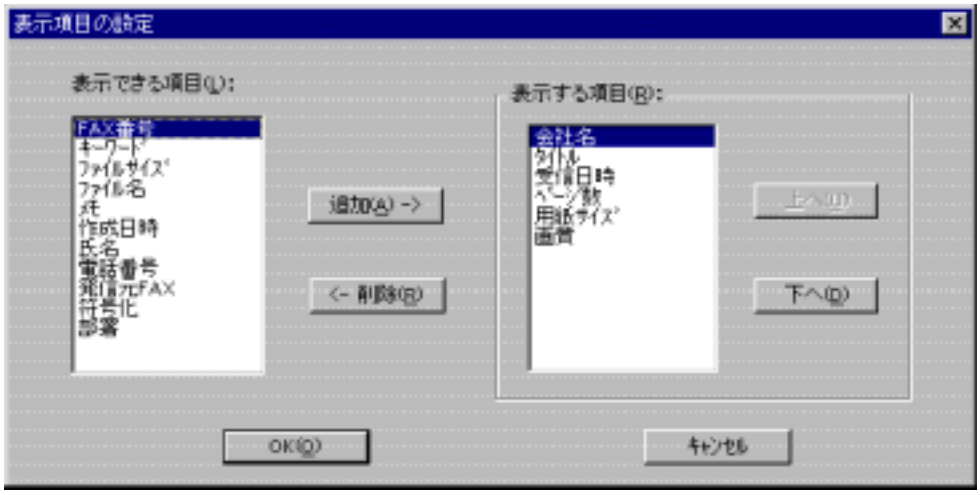
＜画面４２＞



ｲﾒｰｼﾞの自動整列	イメージアイコンを自動整列します。
最新の情報に更新	データベースを参照し最新の情報を取得し再表示します。
ｲﾒｰｼﾞ更新	「pcLANfax 画像ﾋﾞｭｰﾜ」を利用して編集を行ったデータに対して、縮小イメージアイコンを再作成し更新します。
すべてのｲﾒｰｼﾞ更新	pcLANfax ﾏﾈｰｼﾞｬ」で表示されている全てのイメージデータを更新します。

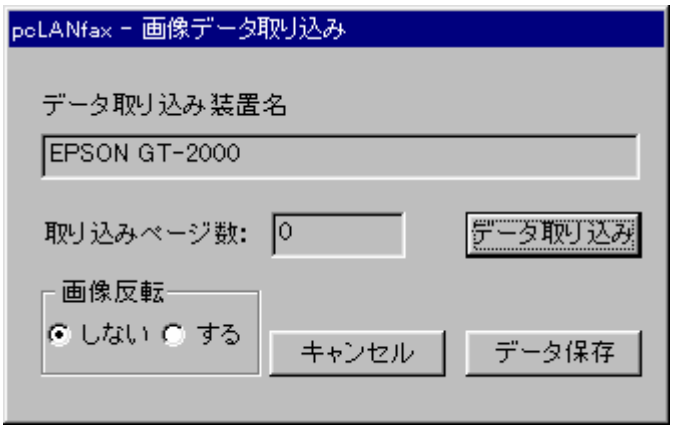
表示項目の設定	一覧表示時の表示する項目（ﾀｲﾄﾙ、受信日時等）を設定できます。

＜画面４３＞



＜スキャナ＞	
コマンド	機能
読み込み送信	**スキャナ等の TWAIN 機器からの読み込みを行い FAX 送信を行う処理です。** **読み込む用紙をセットし［データ取り込み］ボタンをクリックして下さい。** **送信したすべてのデータの読み込みが終わりましたら［データ保存］ボタンをクリックして下さい。** **［データ保存］ボタンをクリックするまで何枚でも取り込みを行うことができます。** ［データ取り込み］ボタンをクリックすることにより取り込みを行うことができます。

＜画面４４＞



読み込み	スキャナ等のTWAIN機器からの読み込みを行い、「共有ｽｷｬﾝﾌｫﾙﾀﾞ」に登録を行う処理です。 必要なデータを読み込みが終わりましたら「データ保存」ボタンをクリックして下さい。
TWAIN機器の選択	スキャナ等のTWAIN機器を使用する場合の使用する機器を選択します。 各イメージ機器別の設定を行うには、TWAIN機器を選択して「選択装置設定」ボタンをクリックします。（設定内容はTWAIN機器によって異なります）基本設定として、白黒、200dpi を設定して下さい。TWAIN機器の選択／設定は、一度実行すれば後は（他で変更しない限り）設定する必要はありません。

＜ヘルプ＞	
コマンド	機能
ﾄﾋﾟｯｸの検索	『pcLANfax ﾏﾈｰｼﾞｬ』のヘルプを起動します。
ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ情報	『pcLANfax ﾏﾈｰｼﾞｬ』のバージョン情報を表示します。

２.１３.２ pcLANfax モデム制御

モデム制御には次の２つがあります。
※１　ソニー社製メモリ付 FAX モデム
※２　一般の FAX モデム
下の（　）内は、コマンドに対し有効なモデムを表示しています。

＜ファイル＞	
コマンド	機能
手動受信 （※２）	音声応答式のFAXサービスからFAXを受信する際に使います。
ポーリング受信 （※２）	電話をかけるとすぐにFAX情報が取り出せるFAXサービスの際に使います。
切断 （※２）	FAXサービス受信中に切断をします。
ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝの終了 （※１　※２）	「pcLANfax ﾓﾃﾞﾑ制御」を終了します。

＜表示＞	
コマンド	機能
送信FAXﾃﾞｰﾀ （※１）	送信FAXデータを表示します。
受信FAXﾃﾞｰﾀ （※１）	受信FAXデータを表示します。
発信状況 （※１）	発信状況を表示します。
ｸﾘｱ （※１　※２）	FAXモデムの送受信のログをクリアします。
ｽﾃｰﾀｽﾊﾞｰ （※１　※２）	ステータスバー表示の有無を指定します。

＜ｵﾌﾟｼｮﾝ＞	
コマンド	機能
FAX自動印刷 （※１　※２）	受信したFAXのプリンタへの自動印刷を指定します。
自動印刷の確認 （※１　※２）	FAX自動印刷指定時に印刷の確認の有無を指定します。

＜ﾍﾙﾌﾟ＞	
コマンド	機能
ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ情報 （※１　※２）	「pcLANfax ﾓﾃﾞﾑ制御」のバージョン情報を表示します。

２．１３．３ 画像ビューア

<ファイル>	
コマンド	機能
開く	ファイルの選択を行うことができます。
上書き保存	同じファイルに上書きで保存します。
名前を付けて保存	ファイルに名前を付けて保存します。
印刷	現在表示しているイメージファイルを通常使うプリンタに印刷を行います。
プリンタの設定	印刷時に使用するプリンタを指定します。
画像ﾋﾞｭｰｱの終了	「pcLANfax 画像ビューア」を終了します。

<編集>	
コマンド	機能
初めからやりなおし	イメージの編集を初めからやり直します。
切り抜き	矩形（四角形、多角形）のイメージの切り抜きが行えます。
ｺﾋﾟｰ	クリップボードへコピーします。
ｺﾋﾟｰ(表示イメージ)	現在の表示倍率でクリップボードへコピーします。
部分ｺﾋﾟｰ	領域指定した矩形（四角形、多角形）をクリップボードにコピーし貼付けします。
部分切り取り	領域指定した矩形（四角形、多角形）を切り取り、貼付けします。 切り取られた領域は白色になります。
貼付け(ｸﾘｯﾌﾟﾎﾞｰﾄﾞ)	クリップボードの内容を編集中の画面に貼付けします。
貼付け(文字)	文字（テキスト）を編集中の画面に貼付けします。
貼付け(ﾌｧｲﾙ)	ファイルを編集中の画面に貼付けします。
全て上書き	編集中の貼付けたイメージを全て上書きします。
全て重ね書き	編集中の貼付けたイメージを全て重ね書きします。
全て廃棄	編集中の貼付けたイメージを廃棄します。
ページ削除	現在表示しているページを削除します。
ページ切り取り	現在表示しているページを切り取りします。
ページ挿入(ｸﾘｯﾌﾟﾎﾞｰﾄﾞ)	クリップボードの内容を１ページとして挿入します。
ページ挿入(ﾌｧｲﾙ)	イメージファイルを１ページとして挿入します。
ページ挿入(白紙)	白紙ページを挿入します。
半回転	現在表示しているページを半回転（１８０°）させます。
右回転	現在表示しているページを右に９０°回転させます。
左回転	現在表示しているページを左に９０°回転させます。
任意回転	現在表示しているページを設定した回転角度で回転させます。

<表示>	
コマンド	機能
表示倍率	表示倍率を指定します。
画像表示	画像表示を行います。
ページ一覧	縮小表示イメージで全てのページを表示します。
画像情報	現在の設定している画像の情報（サイズ、形式）を表示します。
ディスプレイ情報	現在の設定しているディスプレイの情報（サイズ、色）を表示します。

<ヘルプ>	
コマンド	機能
バージョン情報	「pcLANfax 画像ﾋﾞｭｰｱ」のバージョン情報を表示します。

２.１３.４ 送付票エディタ

＜ファイル＞	
コマンド	機能
新規作成	送付票を新規に作成します。
開く	すでに登録されている送付票を選択し、編集対象にできます。
上書保存	同じファイルに上書きで保存します。
名前を付けて保存	違うファイル名で保存します。
画像の読込	画像ファイルから読み込みを行います。
送付票ｴﾃﾞｨﾀの終了	「pcLANfax送付票ｴﾃﾞｨﾀ」を終了します。

＜編集＞	
コマンド	機能
フォームの編集	フォーム編集ダイアログボックスを表示します。

＜画面４６＞

送付票の削除	登録されている送付票を削除します。※　表示している送付票の削除ではありません。
ｺﾋﾟｰ	表示しているイメージを読み込みサイズと同じ大きさでクリップボードに複写します。
ｺﾋﾟｰ(表示ｲﾒｰｼﾞ)	現在表示しているイメージを表示倍率のサイズでクリップボードに複写します。
貼付け	クリップボードの内容を貼付けます。

＜表示＞	
コマンド	機能
表示倍率	表示倍率を指定します。
サイズ自動調整	イメージの大きさを自動調整します。
ディスプレイ情報	現在の設定しているディスプレイの情報（サイズ、色）を表示します。

＜ヘルプ＞	
コマンド	機能
バージョン情報	「pcLANfax 画像ﾋﾞｭｰｱ」のバージョン情報を表示します。

２.１４ その他の機能

・プリンタドライバからの印刷
『pcLANfax』では、他のアプリケーションからの印刷を FAX に送信するために仮想プリンタを使用することができます。他のアプリケーションの「プリンタの選択」で『pcLANfax』を選択して下さい。

２.１５ 注意事項

１）「pcLANfax ﾓﾃﾞﾑ制御」が起動していないと FAX の送信･受信は行われません。

２）受信 FAX を自動印刷する場合、印刷が完了する（印字データがスプールされる）まで、次の FAX 送受信は行われません。

３）サーバ側では、pcLANfax をインストールしたフォルダをクライアント側から参照可能とするため、共有の設定を行う必要があります。このときクライアントのアクセス権は、「フルアクセス」に設定して下さい。

４）pcLANfax を削除するには、登録されたプログラムグループ「☆ pcLANfax ☆」の中の「アンインストーラ(UNSETUP.EXE) 」をクリックして下さい。アンインストール時に今まで登録を行ったデータを消さずにアンインストールをするときは、チェックマークをつけてアンインストールを行って下さい。チェックマークをはずすと登録したデータが全て失われます。

５）TWAIN 機器を利用する場合は、まず TWAIN 機器に付属のソフトで動作を確認して下さい。

６）Windows を終了する前に「pcLANfax ﾓﾃﾞﾑ制御」・「pcLANfax 受信モニタ」等をを終了させて下さい。起動したまま（データベースにアクセスした状態）で終了するとデータが失われる可能性があります。

７）モデムが接続されたパソコンでは、FAX 送受信中に他のアプリケーションを操作すると、FAX の送受信に失敗することがあります。

８）インストールした後、一部のパソコンでエラーが発生することがあります。
これはシステムファイルのバージョンの違いにより発生することがあります。
以下のサイトのプログラムをインストールして更新してください。
http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja;282010

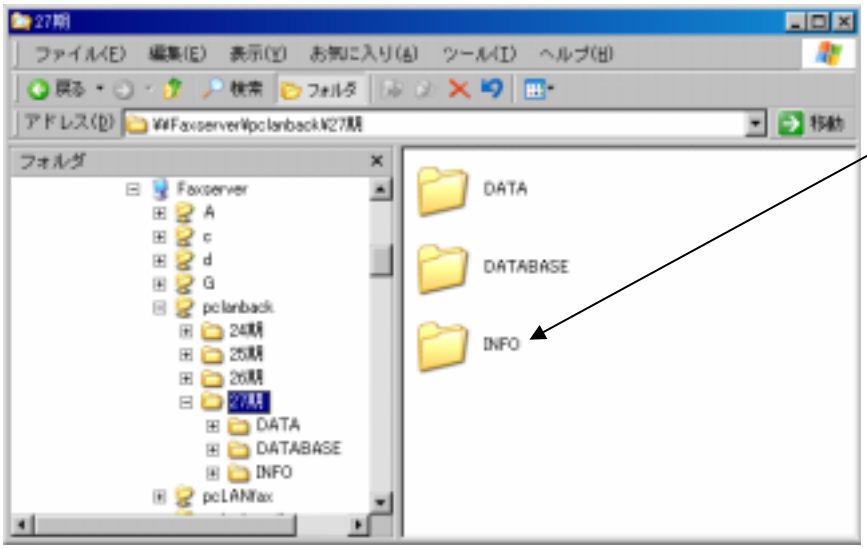
９）ご使用の FAX モデムが SONY 製メモリー付きモデム(SMD シリーズ)の場合、FAX を受信（RECEIVED ランプが赤く点灯）しているのにモデムから FAX 取り込みが行われない場合や、FAX 送信を行ったのにもかかわらずモデムにデータを転送しない場合は、モデムのリセットを行って下さい。モデム内に書き込まれたデータを失うことなく初期化できます。
モデムのリセットは、モデム本体の電源を切っても行われますが、同時にモデム内のデータも失われますのでご注意ください。

＜リセットの手順＞
１．モデム前面の「FAX メモリー受信」ボタンを三秒以上押し続ける。
２．モデムから「カチッ」と音がする。
３．詳しくはモデムに添付されている「取扱説明書」をご覧下さい。

3　追加機能

3.1 pcLAnfax のバックアップ

万一に備えて、送受信した FAX のバックアップができます。
実際に送受信した FAX をファイリングしている pcLANfax サーバの pcLANfax のフォルダの下にある data と database の二つのフォルダをバックアップします。
例えば、下図のようにバックアップした月別・期別に管理しておくと 3-2 で説明する「データフォルダの変更」がより有効的に使えます。



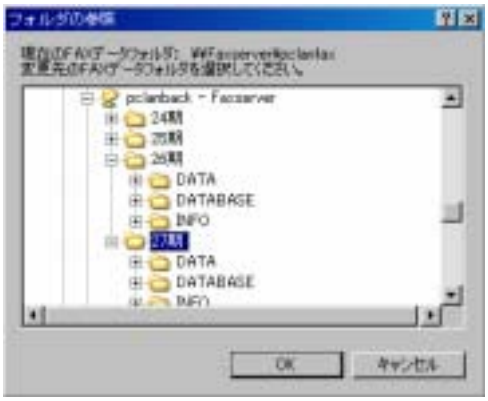
Info フォルダには、送付票がはいっております。
オリジナル送付票を作成している場合は、一緒にバックアップしてください。

3.2 データフォルダの変更

送受信した FAX で、過去にバックアップした内容を切り替えてご利用頂けます。
（ただし、モデムが接続されているサーバ・クライアントでご使用の場合、モデム制御を使用しないでください。モデム制御を使用した状態でフォルダを変更するとデータが更新される場合があります。）

手順 1
右図のように、pcLANfax マネージャー上でファイル→データフォルダの変更を実行します。

手順 2
過去に DATA、DATABASE をバックアップした場所を右図のように指定してＯＫをクリックします。



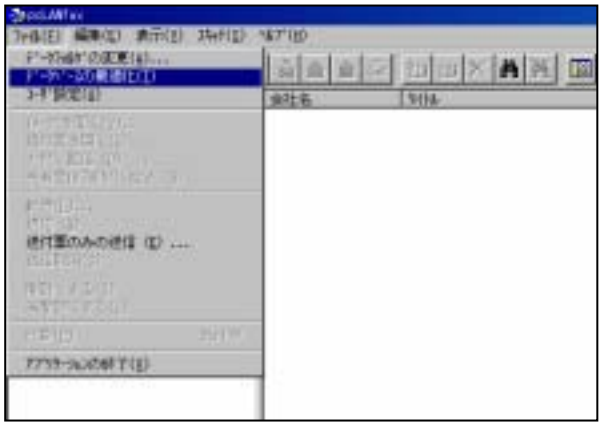
手順 3
ユーザの選択をします。
ユーザ登録時にパスワードの制限をしているユーザを選択した場合は、パスワードの入力が必要です。

以上の操作で、過去のデータが pcLANfax **マネージャーで表示されます。**

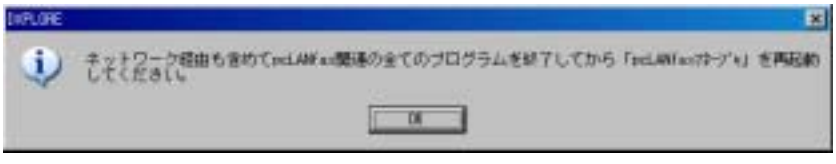
３.３ データベースの最適化

ゴミ箱データの削除を行っても、実際にはデータベース自体にはデータが残っているため、
送受信件数が多くなってくると検索、送信、受信等の処理が遅くなってきます。
使用頻度にもよりますが、約１ヶ月ごとにデータベースの最適化を行うことをお薦め致します。
（データベースの最適化を行う前に、モデム制御ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝを終了してください。）

手順 1
右図のように、pcLANfax **マネージャー上でファイル→データベースの最適化を実行します。**



手順 2
下図のようなメッセージが表示されます。
ＯＫをクリックして、ネットワーク全体の pcLANfax 関連のプログラムを終了してください。
（ネットワーク全体の pcLANfax **関連のプログラムを終了しないでデータベースの最適化を行うと処理ができないもしくはデータベースがおかしくなることがありますのでご注意下さい。）**



手順 3
pcLANfax を再起動して、データベースの最適化を行ってください。
下図のようなメッセージが表示されますので、「はい」をクリックしてください。
（「定期的に通知しないようにします」にチェックをすると、定時的に起動時に最適化を行うメッセージを表示しないようになります。）

手順 4
データベースの最適化が終わりましたら、pcLANfax マネージャが起動します。
ネットワーク全体の pcLANfax 関連のプログラムは使用できるようになります。

以上の操作で、データベースの最適化が終わります。